					事務事	業マネジ	メン	トシー	 	(令和6	6年	度実施	分)				
	事業名	交通マネジメントの	の推進							めた理由(
		10 -1- tm 1 - 18/15	_					本格的	」なi エ	高齢社会の)到来	そや環境問 スペサカン	問題の深刻	化、不採算バ クを改化	ス路線の廃止な	よどの課題に対	対応するた :会を実現する
	所管局	住宅都市みどり局	<u>อี</u>	所管課	交通計画	课		と 必要が	選が	ヰポのエ軸 る。	1 (0)	の公共文)	囲れりにフ	一クを独化し、	マイカーに廻及	これのないで	.女ど夫切りる
	拠法令	一 正式4左座	/	= 15回十数	ᆂᆇᅝᆉᆉᆌ		_		•								
	引始年度 1 *** # 107	平成24年度	行政計画	■ 個向巾都	市交通基本計	<u> </u>											
L =	業概要	そ <u>】</u> と対象として行うのか	`			人和C左连 ⇒	<i>-</i> /-		- /-	*****		·+ +	11	じのトニナ	じのトンナ	北谷にーナン・ナ	こま巻と日本
 対		- M & C C C 1 1 100 / 1		- 来訪者。	実	令和6年度、前 方法で何を行			刀束	で出まれ、	H FY	连队 〜 円	けて土に	といような	成し(終了)す	状態になった 「るのか	り争耒を兄但
象	-//~		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7	施	「福岡市交通基			引げ	た基本的な	よ方針	トのうち、「	公共交通	を主軸とし	公共交通(や利用促進を
					内	た総合交通体	系づ	くりの推済	進()	方針1)」を	踏まえ	え、その実					業を進めてい
	対象をと	のような状態にした	いのか		容	市総合交通戦	略」	こ位置付	けた	と各種施策	を実力	施した。			直 <。		
車	異なる公	共交通機関(地下銀	跌•西鉄電	車・西鉄バス・、	JR等)	┃ ・商業施設等と	上連携	もしたパー	-ク:	アンドライド	•				し 判		
業	が相互に	に連携し、利用者にる となり、多くの市民・	とって使い [、] 本計 さ にも	やすい公共交流	通ネッ 状態。 第	・転入者に対す	ナるモ	ビリティ	マネ	くジメント(な	交共纪	医通情報摄	是供) など	•	断		
目	トノーク	となり、多くの川氏・	不 訓母1~1	JULCAL CLIO	八思。 子										基準		
的					\sim												
	- >		± _& -/- 1														
	シックー	モデル・指標の選 ①活動7 ウトプ			<u> </u>	結果アウトプット						③中間7	ታ ዶቱ ለ			4最終アウトカム	
		(どんな活動を行				枯果、どうなる(のか))		(そ			けどうなるの	のか)		・市としてどう	
		とって使いやすい				プに基づいて								共交通機	マイカーに過		
		総合交通体系の構築 、交通事業者や道路				道路管理者等								バス/JR	共交通を中心た社会となる。		糸が構築され
)共働により策定する		1 A		′クルで取り組	(かり	`進めり		等)が相:				-クが形成	TETE COO)	
ロジ					o 0				1	される。	0 - 2	·// // // // // // // // // // // // //	1.71.7	7 13 112 132			
ジッ				'					,					,			
ク		指標の内容 結果アウトプットに対応した		実	績	目	標		成	指標※③中間7	票の内			美	! 績	目	標
モデ	** < 7	指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最	終年度	米の	指標	標を設	こ対心した 定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
ル	活「福岡	間市総合交通戦	目標	26.0	26.0		R	8年度	指	1日あたり	100 6/4	·* · · · ·	目標	120万人	120万人		R10年度
		位置付けている	実績	20.0	20.0	_		26.0	標	利用人員	リリシ	:垣・ハヘ	実績	118万人	集計中	_	125万人
	指	の実施数	達成率	76.9%	76.9%				С К				達成率	98.3%	_		
	標		目標				R	年度	P	公共交通	が俥き	利レ成じ		現状維持(80%程度)			R10年度
			実績						1	る市民の	割合	11CIEC	実績	81.8		_	現状維持
			達成率						\smile				達成率	100.0%	100.0%		(80%程度)
		_		計画(政策推過										事業費(千円)		
Ę	業区分	重				:道・バス利用ノ し → R6:120万					令和		算額(見込	<u>.</u> 額)			
旃	策コード		-5-3			利と感じる市民		合			L	歳出				2,286	
					24:77.4% → I	R6:現状維持)					į	特定				0	
分	野別目標												財源			2,286	
	施策	公共交通を主軸とした		―――――――――――――――――――――――――――――――――――――							前年		望年度			_	
	事業群	交通マネジメントの推進(公共交流	通機関や自転車利用									年度		R5	R		
_	- AD-L-A'			行政運営プラ	ン							歳出		1,	765	2,280	
	2組方針	_								4	Ī	表 特定			0	0	
ł	推項目	_									-	へ 一般	財源	1,	765	2,280	

						事務事	事業マネジ	メントシー	\	(令和6	6年度実施	i分)				
	事訓		公共交通バリアフ	7リー化促進	售事業						きっかけ)は何					
								——【本格的	ない	高齢社会の	り到来や環境間	問題の深刻	刻化、不採算バ	ス路線の廃止	などの課題に	対応するた
	所管		住宅都市みどり居		所管課			景 の、文	:週1 厚が	体系の主軸 ある。	である公共文	囲 イツトン	アークを強化し、	マイカーに廻り	とに积りない	以云を美現り
		·	高齢者,障害者等					_ " ~ ~	~	0 5 0 0						
		1 12	平成14年度	行政計画	1 備面市ハ	ノアフリー基本	2計画									
1		概要	<u>】</u> 対象として行うのか	· \			△和○左告:	*~ * ~ **	·—^	*******		511	- ויס ג	じの しこか	山上台1	シェポナロ ま
**			後関(鉄道、バス、				市和O年度、 な方法で何を		力ī	束を踏まる	、目的達成に「	引げて土に	ことのよう	成し(終了)す		:ら事業を見直
対象	^;	六义进1	成氏(数但、ハヘ、	, ,,,,		施	公共交通の/		<u>መ</u> ብ	足維に向け	、交通事業者に	- 441 亜語	きを行うとと	果しており		促進に関する
<i>></i>						内 	もに、補助金		U))		、人型学术省	ことうし女師				大した「バリア
	설	象をどの	りような状態にした	-いのか				S	.	3				直フリー基本		傾に達した場
_			円滑な公共交通の		きるよう、ノンス	ステッ	・ 鉄道駅の/	バリアフリー化 プバス導入促 ³						合。		
争坐	 	ヾス・U[タクシーの導入や	や駅のエレイ	ベーター設置等	等に補 業	UDタクシー	ノハヘ等へ促え −の導入促進【						判断		
事業目的	助	を行い、	バリアフリー化の	促進を図る	00	手								基		
的						段								準		
														~		
[[ョジ	ックモ	デル・指標の遺				•						, ,	·		
			①活動アウトプ (どんな活動を行う)結果アウトプット 結果、どうなる			(20	③中間7 の結果、対象に		<i>σ</i> ω)		҈見終アウトカル 、市としてどう	
	O,		とんな石刻を1 〕 業者に対し、バリフ)要請 \ ()	**********	和末、C J体で バリアフリー化	•	h		が相来、対象は			〇安全且つ円		
			業者に対し、バリフ			4///	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		М		且つ円滑な利		きるように	き、すべての人	くにやさしいる	
							リアフリー化		В	なってい	る。			現につながる	o	
							利用者3,000		Ш							
						こは2,000人) 備地区内の!!	以上3,000人 <i>5</i> 駅	下冲で里只	۱ſ							
						ノンステップ			/							
ロジ					•	UDタクシー	の導入									
ツ			指標の内容 果アウトプットに対応した		実	績	E	標 			見の内容 かかに対応した		実	績	F	標
クモ			指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度	成	指	票を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
デ		斜 道駅	これ マスティア こうしょ しょうしょ しょく かいしょ しょく しょく かいしょ しょく しゅう はい しょく しゅう	目標	_			R 年度			リアフリー化率(1 者3,000 人以上の	目標	100.0	100.0		R 年度
ル	活	化補助	」(駅/年度毎)	実績	0.0			_	りお	駅または2,0	43,000 人以上の 00人以上3,000人 整備地区内の駅)	天 积	68.7	73.5	_	100%
	動			達成率	#VALUE!	#VALUE!		D 4-4	標		整備地区内の駅)	達成率	68.7%	73.5%		D7 5
	の指	ノンスラ	テップバスの導入	目標	26.0			R 年度	-∟		プバスの導入	目標	80.0	80.0		R7年度
1	標	補助(台/年度毎)	実績	17.0	3.0		_	K	率		実績	43.9	44.4	_	80%
				達成率	65.4%	17.6%		D左曲	17			達成率	54.9%	55.5%		D7左曲
			ーサルデザイン 一の導入補助	目標 実績	118.0 111.0	100.0 82.0		R 年度	<u> </u>	ユニバー	サルデザイン	目標 実績	25.0 20.3	25.0 24.3		R7年度
		(台/年		達成率	94.1%	82.0%		_		タクシーの)導入率	達成率		97.2%	_	25%
				-	十画(政策推進				<u> </u>			足灰干	事業費(千円)			
-	丰 	区分	重				フリー化率(1 E	1平均利田者		-	<u></u> 令和6年度決	質妬(目)	1 1			
_	#未	巨刀		<u>1</u> -1	施 3,0	00 人以上の	駅または2,000		未		市和O千度次 歳出		公假/		20,585	
旅	短策:	コード	再 —	_,_, 		で重点整備地		0.4			1	」 !財源			20,363	
/\					成 R		2%⇒R7n: 100	1%			~~				U	
_	田工豆		- 171といが心典かに草	こ 元気に郷し	ソアリス 里 ノン	ステップバス	(/) 獋 & 烾								20 505	
カ		川目標	一人ひとりが心豊かに暮っこバーサルデザインの		指 R		3%⇒R7n:80%					財源	予 質類		20,585	
	施	削目標 策	ユニバーサルデザインの	り理念によるまた	指 R UD	4n(現状): 41.3 タクシーの導	3%⇒R7n:80% 入率				前年度決算客	東 ・翌年度		D.		
	施	削目標 策		^{の理念によるます} 市・福岡の 扌	指 を 性進 作 に た だり に た に た に た に た れ に れ に れ に れ れ れ れ れ れ	4n(現状): 41.3 タクシーの導. 4n(現状):16.8	3%⇒R7n:80%				前年度決算都年度	夏•翌年度	R5	R'	7	
	施 事業	制目標 策 と群	ユニバーサルデザインの	^{の理念によるます} 市・福岡の 扌	指 R UD	4n(現状): 41.3 タクシーの導. 4n(現状):16.8	3%⇒R7n:80% 入率				前年度決算都 年度 歳出	頁•翌年度 ₹		100		
I	施 事業 取組	削目標 策	ユニバーサルデザインの	^{の理念によるます} 市・福岡の扌	指 を 性進 作 に た だり に た に た に た に た れ に れ に れ に れ れ れ れ れ れ	4n(現状): 41.3 タクシーの導. 4n(現状):16.8	3%⇒R7n:80% 入率				前年度決算名 年月 歳出 歳 特定	夏•翌年度	R5	0	7	

					事務事	業マネジ	メントシー	<u> </u>	<u>(令和6年</u>	<u> </u>	<u>分)</u>				
	事業名	生活交通支援							めた理由(きつ						
	•							4年	度の道路運送	送法の改正に	こ伴い、バ	ス路線の廃止が	が許可制から	事前届出制とな	なったことか
	所管局	住宅都市みどり局	5	所管課	地域交通	課		小を ・ス₩	連行する路線 http://www.nc	泉ハ人におし 生活な通り	でも、小孩 化麸衣涌)	採算路線の休序 の確保が必要	を止の届け出た	Nなされ、公共 ∤政負担に ⊦ 2	父囲か空日
木	艮拠法令	公共交通空白地等			5交通の確保に	関する条例		٠٩٠١	5-561-030.64	工力又进(八百又四/	の唯体が必安	こみのにめ、か	以只にによる	又版で行うで
-		平成18年度	行政計画	福岡市都	市交通基本計	曲									
	事業概要	· -													
		対象として行うのか					前年度の改善	方策	を踏まえ、目	的達成に向	けて主に	どのような			ら事業を見直
対	公共交通	i空白地及び公共交	E通不便地	等の居住者		方法で何を行							し(終了)す		
象					実		条例に基づき、 ハス 化麸みる					〖白地とな	が要最低	艮の生活交通	を確保するたづく、休廃止対
					施内	線)を実施す	へ、代替交通 るとともに、生き	の连活交	音)性負に備り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	めど11フMタ ナた地域主に	€皿刈束() 本の取組み	は対し、一位に対し	へ 策などに組	・通来がいる 継続して取組す	ンへ、休廃止対 3必要がある。
	分色 たじん	のトンか件能にしょ	しつか				通事業者間の						見		, 2
		のような状態にした		与える仏の口			【休廃止対策	: 今	宿姪浜線、板	屋脇山線、	志賀島島	内線、脇	直		
#	生活父迪	iは、通勤、通学、通 ことのできない、市	型院、貝い社 ドアの諸活動	かての他の ロー 動の基盤であり		山支線、金武 〇公共交通力	「橋本線」 が不便な地域し	こおに	ける持続可能	か生活交通	確保の仕	組みづくり	判		
業	の移動手	段について、必要	最低限の生	三活交通の確保	プ、そ Ref Ref 手	に向け、地域	や交通事業者	と当	は働し、オンデ	マンド交通社	土会実験(市内3エリ	断		
目	う。				段		【オンデマンド		種社会実験∶①	D東区R4.11	月~、②南	J区R5.1月	基準		
的					\sim	~、③中央•	城南区R5.6月	~]					巻		
<u>[</u>	コジックモ	<u> デル・指標の遺</u>											-		
		①活動アウトプ				結果アウトプット			(204	3中間7 ¹		247	(スの針甲	④最終アウトカム	(ナスのか)
		(どんな活動を行き 通空白地となる地			木廃止対策路	吉果、どうなる 線の維持	(ימנטו	1	○必要最低	吉果、対象は 限の生活交			○地域の実情	、市としてどう	
	交通の確		-×1-0017 d		也域の実情に		通の確保	М	る。	XV_10_			され、公共交流		
		通不便地等におけ	る生活交流	通確保				В					合が維持され	る。	
	の取り組み	みに対する支援						I۷							
ロジ								"				7			
ッ		指標の内容			4 ±		1 135	成	指標の) 由 宓			6 ±		1m
クモ	N/ @ 44	果アウトプットに対応した		PE 左左		-]標 ■ 8 5 5	果	※③中間アウトカ	ムに対応した		実			標
デ		指標を設定	年度	R5年度 -	R6年度	R7年度	最終年度	の	指標を	·設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
ル	呉 バス連	連絡協議会の開催	目標	5	5		R 年度		休廃止対策		目標	160	162		R 年度
		(回/年度毎) 線(1回/路線)】	実績	9	10	5.0	_		利用者数(千 毎)	-人/年度	実績	154	161	165	_
			達成率	180.0%	200.0%				毋/			0 0 00/			
	標公共交			_			D #=#=	K			達成率	96.3%	99.4%		D ##
	111.1-15.00	を通不便地における	目標	2	2	F 0	R 年度	K P		実施地区	目標	4	4	0.0	R 年度
		D取組に対する支援	実績	1	2	5.0	R 年度 —	K P I	不便地対策等数(累計)	実施地区	目標 実績	4 3	4 3	8.0	R 年度 —
			実績 達成率	1 50.0%	2 1 50.0%	5.0	R 年度 —	KPI)	不便地対策	実施地区	目標 実績 達成率	4 3 75.0%	4	8.0	R 年度 —
	(地区))取組に対する支援 /年度毎)	実績 達成率 基本	1 50.0% 計画(政策推進	2 1 50.0% 基プラン)		-	ΚP-)	不便地対策数(累計)		目標 実績 達成率	4 3 75.0% 事業費(千円)	4 3	8.0	R 年度 —
Į		D取組に対する支援 /年度毎) 重	実績 達成率 基本	1 50.0% 計画(政策推進 〇	2 1 50.0% 生プラン) I 日あたりの鉄	道・バス利用	人員	KP-)	不便地対策数(累計)	和6年度決	目標 実績 達成率	4 3 75.0% 事業費(千円)	4 3		R 年度 —
	事業区分	D取組に対する支援 /年度毎) 重	実績 達成率 基本	1 50.0% 計画(政策推進 (H.	2 1 50.0% 生プラン) I 日あたりの鉄 22:108万4千ノ	道・バス利用 \ → R6:120	人員	KP-)	不便地対策数(累計)		目標 実績 達成率	4 3 75.0% 事業費(千円)	4 3	8.0	R 年度 —
旅	事業区分	取組に対する支援 年度毎) 重 主 4 再 —	実績 達成率 基本	1 50.0% 計画(政策推進 施 (H. 策 〇: 成 (H.	2 1 50.0% 生プラン) I 日あたりの鉄	道・バス利用 \ → R6:120 利と感じる市ほ	人員 万人) 民の割合	KP-)	不便地対策数(累計)	和6年度決	目標 実績 達成率	4 3 75.0% 事業費(千円)	4 3		R 年度 —
旅	事業区分	取組に対する支援 年度毎) 重 主 4 再 —	実績 達成率 基本 点 -5-4	1 50.0% 計画(政策推進 施 (H: 策 (H:	2 1 50.0% 生プラン) 1日あたりの鉄 22:108万4千ノ 公共交通が便	道・バス利用 \ → R6:120 利と感じる市ほ	人員 万人) 民の割合	KP-)	不便地対策数(累計)	和6年度決 歳出	目標 実績 達成率 算額(見込	4 3 75.0% 事業費(千円)	4 3	108,123	R 年度 —
旅	事業区分	取組に対する支援 年度毎) 重 主 4 再 —	実績 達成率 基本 点 -5-4	1 50.0% 計画(政策推進 施 (H: 策 (H:	2 1 50.0% 生プラン) 1日あたりの鉄 22:108万4千ノ 公共交通が便	道・バス利用 \ → R6:120 利と感じる市ほ	人員 万人) 民の割合	KP-)	不便地対策数(累計)	和6年度決 歳出 歳出	目標 実績 達成率 算額(見込 財源 財源	4 3 75.0% 事業費(千円) 額)	4 3	108,123	R 年度 —
分	事業区分を策コードを野別目標施策	取組に対する支援 年度毎) 重 主 4 再 — 人と地球にやさしい、持続可	実績 達成率 基本 点 -5-4	1 50.0% 計画(政策推進 施 (H: 策 (H: まれている 果	2 1 50.0% 生プラン) 1日あたりの鉄 22:108万4千ノ 公共交通が便	道・バス利用 \ → R6:120 利と感じる市ほ	人員 万人) 民の割合	KP-)	不便地対策数(累計)	和6年度決 歳出 歳 特定 入 一般	目標 実績 達成率 算額(見込 財源 財源 ・翌年度	4 3 75.0% 事業費(千円) 額)	4 3	108,123 10,000 98,123	R 年度 —
分	事業区分を策コードを野別目標施策	取組に対する支援 年度毎) 重 主 4 再 公共交通を主軸とした	実績 達成率 基本 点 -5-4	1 50.0% 計画(政策推進 施 (H: 策 (H:	2 1 50.0% 達プラン) 日あたりの鉄 22:108万4千 公共交通が便: 公共交通が便:	道・バス利用 \ → R6:120 利と感じる市ほ	人員 万人) 民の割合	KP-)	不便地対策数(累計)	和6年度決 歳 歳 特定 入 一般 「年度決算額	目標 実績 達成率 算額(見込 財源 財源	4 3 75.0% 事業費(千円) 額)	4 3 75.0%	108,123 10,000 98,123	R 年度 —
分	事業区分を策コードを野別目標施策	取組に対する支援 年度毎) 重 主 4 再 公共交通を主軸とした	実績 達成率 基本 点 -5-4	1 50.0% 計画(政策推進 施 (H: 策成 果 指標	2 1 50.0% 達プラン) 日あたりの鉄 22:108万4千 公共交通が便: 公共交通が便:	道・バス利用 \ → R6:120 利と感じる市ほ	人員 万人) 民の割合	K P I)	不便地対策数(累計)	和6年度決 歳 歳 特定 入 一般 「年度決算額	目標 実績 達成率 算額(見込 財源 財源 「記字年度」	4 3 75.0% 事業費(千円) 額) P算額 R5	4 3 75.0%	108,123 10,000 98,123	R 年度 一

						事務事	事業マネジ	ジメントシー	<u> </u>	(令和6年	度実施	分)				
	事	集名	七隈線沿線のまた	ちづくり推え	進(橋本駅周辺	地区)				めた理由(きった			/4-1-1 		***	
			 	=		1.1.1.4.=1 :		—— 地下釒 ─── 背	失七	隈線の整備を彗	2機として、	艮好な市	街地形成や新	たな拠点の形	成を図るため	
		育局	住宅都市みどり周		所管課	地域計画	:	景								
_		法令	都市計画法・土地													
		年度	平成25年度	行政計画	<u> </u>											
1.		(何)を	: <u>』</u> 対象として行うのか	11			△和C左曲:	サケ中のルギ	— /=/	t	h'去 ポルー 宀	14	じのトニナン	じのトラナ	ルトキャーナ	こ古坐と日本
			; 隈線地域(橋本駅				市和O平度、 方法で何を行		力牙	を踏まえ、目 的	り達成に同	けて土に	とのような	成し(終了)す	:状態になった ナるのか	り争耒を兄担
象		1 32 6	,15文小水~65~20(11回·千·阿八	/LJ X.E./			〇地域主体のま							果 佐本駅周	辺を中心に総	合交通体系の
-						内	●橋本駅前土地	!区画整理組合へ(共施設整備等に(見 確立及び	交通結節機能	の強化を図
	対	象をど	のような状態にした	いのか		容	・事業計画の見	直し、変更を実施	i.						サービス機能な	
+	橋	本駅周	辺を中心に総合交	通体系の	確立及び交通網	洁節 事	・国へ補助金の ・総会 理事会)手続きを実施し、 等への出席及び打	土地	区画整理組合へ助 5指導助言]成。				i i 形成が図られ	
尹	1616	能の強	҈化を図り、商業・サ	ービス機能	能などが集積し	た魅 業	●橋本駅南土地	区画整理組合への	の支	爰				1 3	(11/19/1/12)	0/2400
業目的	力 る。	と賑わ	いのある市民生活	の核となる	拠点形成を実	現す 手 段	・事業化に向け ・役員会等への	た関係機関との協)出席及び技術的	品議記 指導	^{剛整} 助言				基準		
的	ام	•					[令和6年度予算	「額] 区まちづくり推進訓						準		
							「個本「尸切地	ひより ノヘッ推進制	可且 3	[1/2TD						
Ţ	コジ	ックモ	∃デル・指標のシ	重成度 】									•	,		
			①活動アウトプ			2	結果アウトプット	. 047		/ 7 0 4 1	③中間7:		D4.)	/7.0H=	④最終アウトカ	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
	141	武仕日	(どんな活動を行 が行うまちづくり(=		理事 / 計		結果、どうなる や関連事業	·	Ł	・駅周辺の総	果、対象は			・商業、業務機	、市としてどう	
			ついて、以下のよう				整理事業が「		I	通結節機能(加による地下		
	ار ا		- 11 /1-11 1 1-		する		E-T-7-7-70 1	1761-215		ビス機能など				見込める。		
	Ш →		への技術的支援 こ向けた関係機関。	との拉議証		ちづくり活動	に対する住		ľ	増加するとと	もに利便	性が向上	する。	・定住人口の: 税、都市計画	増加による税」 税等)が見込	
ロジ			こ同けた関係機関 手に向けた関係機		:≣田東女 【【 【//`/		区画整理事	業の立ち上	"					がた、101111日 四	仇守/小兄处(りる。
ッ	11 /		の財政的支援			を可能とする	-		_+ <u>+</u>	お押ひ	h rin			A+		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
クエ			指標の内容 課アウトプットに対応した		実	** '		標	成	指標のP ※③中間アウトカム		<u> </u>		注	-	標
モデ	<u> </u>		指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度	の	指標を設	定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
ル	活動	橋本	駅前土地区画整	目標	74.4%	76.2%		R8年度	指	地下鉄七隈線の		目標				R10年度
	の	垤尹	「業の進捗率(%) 事業費ベース)	実績	54.6%	60.8%	90.6%	100.0%	標	(1日当力 H31.2策定の地下鉄		実績	126,202	145,487	_	164,719
	の指標	· ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	達成率	73.4%	79.8%		D /==	K			達成率	_	_		D左曲
	1示	橋本	:駅南土地区画整	目標 実績	_			R 年度	Р		-	目標				R 年度
		Ŧ	理事業の認可	天根 達成率	_		_	1	ш			実績 達成率				
	<u> </u>				=1==/===				\sim				** **/~~			
	ىلىد ك	·			計画(政策推進	<u></u> Eフラン)				A 1	-0 		事業費(千円))		
	争亲	区分		点	——————————————————————————————————————					令和 ————————————————————————————————————	06年度決		.観)		7.4	
力	も策	コード		 -4-1	施 ————————————————————————————————————						歳出				71	
			再一								歳 特定!				0	
5.		別目標			まれている までも、ごグリ 指					34.5	入 一般!		7 AP +I		71	
		策	まちと自然が調和した福岡							阿丘	F度決算額				7	
	争:	集群	計画的な市街地	登備の推進		.					年度		R5		7	
	Hn 40	+ &I	1		行政運営プラ						歳出			69	141	
		方針	_								歳 特定!			0	0	
	推進	項目	_								入 一般!			69	141	

						事務事	業マネジ	メントシ	ンート	(令和(6年度実施	i分)				
	車	業名	香椎·臨海東地区	住宅市街	地総合整備事	業					きっかけ)は何:					
			12 -1 - 12 - 1 - 1811 =			Luci neces		발 7	マイラント	シティを含	む香椎・臨海東	地区にお	いて、良好な住宅	官市街地形成	ずを促進するた	め。
		管局	住宅都市みどり局	์ 	所管課	地域計画	課 ————————————————————————————————————									
		処法令		∠= =		7+++1 										
		出年度 数加 田	2003(平成15)年度	行政計画	■ 第9次個回	司市基本計画										
<u> </u>		業概要	<u>ミ』</u> 上対象として行うのか	`			△和6左连 :	並左座の 3	少羊十/	左 大 财 十 二	口的法式厂广	14	じの トニナン	ISO LET	ンルと台にしてナン・ナー	こ古巻と日古
対			<u>ドシティ(まちづくりエ</u>			実	市和O年度、I 方法で何を行			でと始まれ、	目的達成に向	げて土に	とのような 月	し(終了)	は状態になった するのか	り争果を兄但
象		. , , .	, (0.3 - () -	- • • •		施	共同施設整備							本事業の	住宅補助は社	会資本総合
						内 ——— 容			戸〔分譲	1件 93戸、	賃貸1件 97戸	i)		整備計画	により令和6年	
	対	象をと	のような状態にした	いのか		位								いる。		
事	良	質な共	共同住宅供給を促進	することで	、快適な居住理	環境の事							L 	1		
業	₹I∓		図り、美しい住宅市街 B市を目指す。	が景観が	形成された、分	進的業								Ť		
目的	1	- / /V1II	9 6 HE D 2 thid			手段										
ħ.	الا					\sim										
	Ļ	·	^ <u>161</u> = 0 \=													
	무	ンツクー	モデル・指標の選 (1) 活動7 ウトプ			<u> </u>	結果アウトプット				③中間7	<u> ተ</u>			④最終アウトカ」	
			(どんな活動を行				栖来/ ソ ト / ッ ト 結果、どうなる			(そ)	の結果、対象に		のか)		受験終/ソアル4	
			業者が行う共同住宅	整備に係る	5費用 ↓ 良	質な共同住宅					住環境が創				トる満足度の向	
	0	つ一部に	こ対して補助金を交 [、]	付する。						街地景観	が形成される	5.				
	,															
ジ	<u>.</u>								,							
2	, _															
モデ	ŧ∥	W@#	指標の内容		実	績	目]標	成		の内容		実績	į		標
	<u>-</u>	%2 #	指標の内容 結果アウトプットに対応した 指標を設定	年度	実 R5年度	績 R6年度	目 R7年度	□ 最終年	乗	※③中間7	票の内容 ウトカムに対応した 票を設定	年度	実績 R5年度	t R6年度	₽ R7年度	標最終年度
ı	· 注		結果アウトプットに対応した 指標を設定	年度 目標					度の	※③中間7 指	ウトカムに対応した 票を設定	年度目標				
j		新 共同	結果アウンプットに対応した 指標を設定 住宅の事業完了					最終年	<u>き</u> 度 た ま	※③中間7 指 ※住宅市均 極めながら	ウトカムに対応した 標を設定 場の状況等を見 、事業者が市					最終年度
'n	対動の指	新 井同 戸数	結果アウトプットに対応した 指標を設定	目標	R5年度 —	R6年度 —		最終年	<u>き</u> 度 た ま	※③中間7 指 ※住宅市均 極めながら と協議を行	がかいに対応した 票を設定 場の状況等を見 、事業者が市い、建設計画	目標				最終年度
ľ		新 井同 戸数	結果アウンプットに対応した 指標を設定 住宅の事業完了	目標実績	R5年度 —	R6年度 —		最終年	度度が指標で	※③中間7 指 ※住宅市均 を協議を行 を協議を行 や建設時期	ウトカムに対応した 標を設定 場の状況等を見 、事業者が市	目標 実績				最終年度
Jul	対動の指	新 井同 戸数	結果アウンプットに対応した 指標を設定 住宅の事業完了	目標 実績 達成率	R5年度 —	R6年度 —		最終年 R6年月	度度指標(K	※③中間7指 ※住宅市均 ※住宅市均 を協議を行り るが、で行り るが、成果打	がかいに対応した 標を設定 場の状況等を見 、事業者が市い、建設計画 切を決定してい	目標 実績 達成率				最終年度 R6年度
ľ	対動の指	新 井同 戸数	結果アウンプットに対応した 指標を設定 住宅の事業完了	目標 実績 達成率 目標	R5年度 —	R6年度 —		最終年 R6年月	度度指標(K	※③中間7 指 ※住宅から を協議を行り を協議を行り をが、変動	がかいに対応した 標を設定 場の状況等を見 、事業者が市 い、建設計画 用を決定してい 要素が大きい	目標 実績 達成率 目標				最終年度 R6年度
'n	対動の指	新 井同 戸数	結果アウンプットに対応した 指標を設定 住宅の事業完了	目標 実績 軍標 実績 達成率	R5年度 —	R6年度 — 5,943戸 —		最終年 R6年月	度度指標(K	※③中間7指 ※住宅市均 ※住宅市均 を協議を行り るが、で行り るが、成果打	がかいに対応した 標を設定 場の状況等を見 、事業者が市 い、建設計画 用を決定してい 要素が大きい	目標 実績 達成率 目標 実績				最終年度 R6年度
JU	イ動の指標	新 井同 戸数	結果アウトアットに対応した 指標を設定 住宅の事業完了 (累計)	目標 実績 目標 実績 達成率 基本	R5年度 — 5,753戸 — 計画(政策推選	R6年度 	R7年度 一 ひび住環境に	最終年 R6年月 一 R 年月	度度接例	※③中間7指 ※住宅市均 ※住宅市均 を協議を行り るが、で行り るが、成果打	がかいに対応した 標を設定 場の状況等を見 、事業者が市 い、建設計画 用を決定してい 要素が大きい	目標 実績 達成率 目標 実績 達成率	R5年度 ————————————————————————————————————			最終年度 R6年度
ル :	/ 事の非標 事	ち 共同 大戸 数	結果アウトアットに対応した 指標を設定 住宅の事業完了 (累計)	目標 実績 目標 実績 達成率 基本	R5年度 	R6年度 	R 7年度 一 なび住環境に対	最終年 R6年原 一 R 年原 対する満足	度 接 度 定	※③中間7指 ※住宅市均 ※住宅市均 を協議を行り るが、で行り るが、成果打	外別に対応した 標を設定 場の状況等を見 、事業者が市い、建設計画 明を決が大きい、要素が大きい 質標を定めてい	目標 実績 達成率 目標 達成率 実績 達成率	R5年度 ————————————————————————————————————			最終年度 R6年度
ル :	/ 事の非標 事	ち 井同 戸数 言票	結果アウトアットに対応した 指標を設定 住宅の事業完了 (累計)	目標 実績 準	R5年度 	R6年度 	R 7年度 一 なび住環境に対	最終年 R6年原 一 R 年原 対する満足	度 接 度 定	※③中間7指 ※住宅市均 ※住宅市均 を協議を行り るが、で行り るが、成果打	かかいに対応した 標を設定 場の状況等を見 、事業者が市 い、決定にしてい 要素が大きい は標を定めてい 令和6年度決	目標 実績 達成率 実績 達成率	R5年度 ————————————————————————————————————		R7年度 	最終年度 R6年度
ル	が重要がある。	ち 共同 大戸 数	諸果アウトプットに対応した 指標を設定 住宅の事業完了 (累計)	目標 実績 国標 実績 達成率 基本 点 -2-1	R5年度 5,753戸 一 計画(政策推進 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	R6年度 	R 7年度 一 なび住環境に対	最終年 R6年原 一 R 年原 対する満足	度 接 度 定	※③中間7指 ※住宅市均 ※住宅市均 を協議を行り るが、で行り るが、成果打	サカムに対応した 標を設定 場の状況等を市 い事建設にした。 の事業建定でした。 の事業を定めでいい。 令和6年度歳 特に、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目標 実績 達成率 実績 達成率	R5年度 ————————————————————————————————————		R7年度 ————————————————————————————————————	最終年度 R6年度
ル	が 事施 分野 年野	共同共同を表現である。	諸果アウトプットに対応した 指標を設定 住宅の事業完了 (累計)	目標 実績 連成率 目標 実績 達成率 点 -2-1	R5年度 5,753戸 一 計画(政策推進 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	R6年度 	R 7年度 一 なび住環境に対	最終年 R6年原 一 R 年原 対する満足	度 度 度 定 度	※③中間7指 ※住宅市均 ※住宅市均 を協議を行り るが、で行り るが、成果打	サカムに対応した 標を設定 場の状況等を市 い事建設にした。 の事業建定でした。 の事業を定めでいい。 令和6年度歳 特に、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目標 実成率 目標 実成 標 実成 標 実成 率 算額(見) 財源 財源	事業費(千円)		R7年度 ————————————————————————————————————	最終年度 R6年度
ル	/ 動の指標 事 施 野 が	また 大戸 大戸 本	結果アウトプットに対応した 指標を設定 住宅の事業完了 (累計) 重 ・ 主 8 再 3-3-1	目標 実績 達成率 目標 実績 達成率 本 点 -2-1	R5年度 5,753戸 計画(政策推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R6年度 	R 7年度 一 なび住環境に対	最終年 R6年原 一 R 年原 対する満足	度 度 度 定 度	※③中間7指 ※住宅市均 ※住宅市均 を協議を行り るが、で行り るが、成果打	サカムに対応した 標を設定 場の状況者が計画 水・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目標 実成率 目標 実成標	事業費(千円)	R6年度 ————————————————————————————————————	R7年度 ————————————————————————————————————	最終年度 R6年度
ル	/ 動の指標 事 施 野 が	まかり 前票 業 この 日 標の おり に は かり に できまる かんしょう はんしょう かんしょう はんしょう はんしょう はんしょう かんしょう はんしょう かんしょう しゅうしょう かんしょう かんしょう しゅうしょう しゅうしょう はんしょう はんしょ はんしょう はんしょう はんしょう はんしょく はんしょ はんしょ はんしょく はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	結果アウトアットに対応した 指標を設定 住宅の事業完了 (累計) 重 東 3-3-1 国際競争力を有し、アジアの 高度な都市機能が集積	目標 実績 達成率 目標 実績 達成率 本 点 -2-1	R5年度 5,753戸 計画(政策推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R6年度 - 5,943戸 	R 7年度 一 なび住環境に対	最終年 R6年原 一 R 年原 対する満足	度 度 度 定 度	※③中間7指 ※住宅市均 ※住宅市均 を協議を行り るが、で行り るが、成果打	サルムに対応した 悪の状況等を市 い事建定に大きでいい が事建定に大きでいい が事を素を定めていい 令和6年度歳十一算 前年度 前年度	目標 実成標 実成 算額(見) 財源 財源 野・翌年度	R5年度 ————————————————————————————————————	R6年度 ————————————————————————————————————	R7年度 	最終年度 R6年度
ル オ チ	事施分事	まかり 前票 業 この 日 標の おり に は かり に できまる かんしょう はんしょう かんしょう はんしょう はんしょう はんしょう かんしょう はんしょう かんしょう しゅうしょう かんしょう かんしょう しゅうしょう しゅうしょう はんしょう はんしょ はんしょう はんしょう はんしょう はんしょく はんしょ はんしょ はんしょく はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	結果アウトアットに対応した 指標を設定 住宅の事業完了 (累計) 重 、主 8 再 3-3-1 国際競争力を有し、アジア(高度な都市機能が集積 先進的モデル都市アイラ	目標 実績 達成率 目標 実績 達成率 本 点 -2-1	R5年度	R6年度 - 5,943戸 	R 7年度 一 なび住環境に対	最終年 R6年原 一 R 年原 対する満足	度 度 度 定 度	※③中間7指 ※住宅市均 ※住宅市均 を協議を行り るが、で行り るが、成果打	ウトカムに大きな 一点を 一点を 一点を 一点を 一点で 一点で 一点で 一点で 一点で 一点で 一点で 一点で	目標 実成標 実成 算額(見) 財源 財源 野・翌年度	R5年度	R6年度 ————————————————————————————————————	R7年度 	最終年度 R6年度

						事業マネジ	メントシー	<u> </u>	(令和6年	F度実施	分)				
	事業名	こども病院跡地活	開の推進	、冷泉小学校	跡地活用の検	討			めた理由(きつ			1. > W A 16-	-10-118 N = 1	4. 7 D+ UL I	
-			<u> </u>	=r #+=	ᆘᅉᄴᆉᇒ	=⊞			や立地環境な 向けた検討を				は検討が必要と	:なる跡地につ	いて、早期跡
_	所管局 把 物 法 4	住宅都市みどり局	<u> </u>	所管課	! 跡地計画	話		1310	יייייייייייייייייייייייייייייייייייייי		¥13 W) J1	_/_0/			
	根拠法令 開始年月		行政計	a i			_								
	事業概		ווהּאָבוו												
		女 ⊿ を対象として行うのか	١			今和6年度	かに 中の 改善・	古华	 後を踏まえ、目	的達成に向	けて主に	どのような	どの ようt	・壮能にかった	ら事業を見直
첫		病院跡地、冷泉小学 植				方法で何を行		/J ¾	ドで聞みた、ロ	17年/火1〜円	17 CIL	C 07 & 7 %	成し(終了)・		りず未さた臣
象					施	〇冷泉小学校	 §跡地							の方向性でと	りまとめた機
					内 容				ついて、博多				見能が導入	された施設(事	業者公募で
		どのような状態にした			_		氏間アイテア と検討を進め		ミを実施し、跡 いる	地沽用万針	の策定に	问けて地		た施設)が供用 管する部局に	
事	土地を	所管する部局と連携	し、敷地規	模や立地環境	を踏ま事	Oこども病院		,	, v °				判ぐ		チベとうて心
業	TD + 100	或や福岡市の魅力向 ス	上に貧する	る跡地沽用の 5	早期実 業	I IJ I I I I I I			定した事業者の			句け、当仁	断		
目的		•			段	校区日泊肠語	ステラ に 協議を	11丁 U	いながら、工事	きを進めてい	'බං		基 淮		
P.	1				<u> </u>								*		
Ļ	- ** 4	·	= → 												
	ロンツ <u>ク</u>	<u>'モデル・指標の遠</u> ① 活動7 ウトプ			<u>O</u>	結果アウトプット				③中間7	5k# /			④最終アウトカム	l.
		(どんな活動を行	うのか)			福果、どうなる	のか)		(その新	は、対象は		のか)		し、市としてどう	
		所管する部局と連携	し、敷地規		地活用の方向	性(跡地活用力	5針など)をと	N	事業主体に。	より、敷地規	模や立地	環境を生		踏まえた跡地流	
		境を踏まえ、地域やね する跡地活用方針を				用に向けた取 ≧まる。選定され		IA	かし地域の活魅力ある都可					岡市の魅力向♪ 【入による雇用 <i>σ</i>	<u>-</u> D場の創出や税
		・分別地内用力到を 決定後は、提案を踏り				こよる。 迭足で1 るよう、事業者.			極力のの部川	」至何の別に	ロル図の1	している。	収増		
	地域や	関係機関等との調整	を行う。	係	機関等との調	整を行った結果		17					・公有地の運用 確保	1(売却・賃貸等)による財源の
ジ	<u>:</u>				等に反映されん	3 .		ľ				,	HE IV		
7		指標の内容		美	!績	目	標	成				3	 注 績	E	標
モデ	*)結果アウトプットに対応した 指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度	果の	15 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
ルル		地活用の方向性(跡地	目標	検討(冷泉小跡地)	検討(冷泉小跡地)	検討	未定	指	,	T. 42 66 \ 1	目標	1.7(こども病院跡地)	1.7(こども病院跡地)		R 年度
	動活力	月方針など)のとりまと	実績	検討(冷泉小跡地)	検討(冷泉小跡地)	(冷泉小跡	# -	標	契約(売却・) た跡地の面積		実績	1.7(こども病院跡地)	1.7(こども病院跡地)	1.7(こども病院跡地	0.4
	指		達成率	100.0%	100.0%	地)	策定		/こめいとして田代	貝 (IIa <i>)</i>	達成率	100.09	100.0%		2.4
	標公募	算による事業者選定、 1484年3月20日	目標	実施(こども病院跡地)	実施(こども病院跡地)	実施	未定	K P	/# CD 88 # / / #	THU AT	目標	0.0	0.0		R 年度
		そを踏まえ事業者及び は・関係機関等との調	実績	実施(こども病院跡地)	実施(こども病院跡地)	(こども病院	実施	Ι'n	供用開始した 積(ha)	こ跡地の面	実績	0.0	0.0	0.0	2.4
	整		達成率	_	_	跡地)	大心	J	ig (na)		達成率	_	_		2.4
			基本	計画(政策推)	進プラン)							事業費(千円)		
	事業区分	重	点	-					令	和6年度決	算額(見辺	(額)			
	/- ///	, 主 4	-4-1	施						歳出				6,948	
).	施策コー	再 —		——— 策 成						歳特定	財源			2,796	
5)野別目	標 人と地球にやさしい、持続可	能な都市が構築	されている						入一般	財源			4,152	
	施策	まちと自然が調和した福岡	型のコンパクトな	都市づくり標					前	年度決算額	·翌年度	予算額			
	事業群	計画的な市街地	整備の推進	<u> </u>						年度		R5	F	27	
				行政運営プラ	ラン					歳出		5	356	6,969	
	取組方針	+ —								歳 特定	財源		129	487	
	推進項目									入一般	財源	5	227	6,482	

						事務事	業マネジ	メントシー	 	(令和6	6年度実施	分)				
	事業	名	都心部のまちづく 	りの推進							きっかけ)は何		+ 小 <i>以</i> 日 27 +	la 7 → - la → -		↑ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩
	元 佐	_	 住宅都市みどり局	1	所管課		!.		ひし	.おいても将 りを図ること	米的には人口が必要。そのか	や祝収のX Eめには都	◎少か見込ま♡ 『市の成長を達	れる中、これまっ 引する都心部	で以上に都市 において、計画	の機能強化と 画的な機能更
	所管 艮拠》			ע	川官味	月いい。四十二十四十	、即心乎未证是		IJ,	あらゆる人	の活動を支え	るための	都市機能に磨る	きをかける必要	がある。	
	引始 s		平成20年度	行政計画	<u> </u>			-								
		概要		1150011	=											
			<u>▲</u> 対象として行うのか	١			今和6年度, 前	前年度の改善に	方领	まを踏まえ.	目的達成に向	けて主に	ドのような	ょどのような	状態になった	ら事業を見直
対	都心	部に	おいて働く人、住む	入、訪れる	る人など	実	方法で何を行			KC2HOVE		,,, ,		成し(終了)す		347KC70E
象											和を獲得した機を			企業進出	こよる商機拡大	
						内 ————————————————————————————————————	年に 大神ビッ? 替えにあわせ、	ノハン」、平成31 水辺や緑、文化) 牛 ご・麦	に	クティッド」をそれ どが持つ魅力に	してれ始勁し さらに磨き:	こでいる。建 をかけ、多		賑わい・魅力 k街者が増加	
			のような状態にした			\sim	様な個性や豊か	いさを感じられる	、	多くの市民や	企業から選ばれ			しき検討して	いく。	אווונ ל אס פי ל
事	都心	部の	まちづくりを通じて 資やサービスの提	、人と経済 供がたされ	活動を呼び込む	み、 事業		新誘導方策適ル プの規制緩和第						判		
業目			ることで、生活の質							- "				断 基		
的						段								準		
														~		
7	ジッ	ックモ	デル・指標の遺	[成度]												
			①活動アウトプ	ット			結果アウトプット				③中間7				4最終アウトカム	
	Tyle VI		(どんな活動を行う		· \		吉果、どうなる(١,		の結果、対象は				、市としてどう	
			誘導方策を始めと 度について周知す				る事業者におい と替え検討がな		ı		たビルが耐震性 ・ルへと更新され			企業の進出が大、雇用創出		
			フレット等の作成・夏		など) して	、まちづくり検	討の場ができ		П	業が進出	する受け皿が割	をうとともに	二、国際競	ず、まちの賑れ	ついや魅力が	
					議(の機会が増える	5.		1		竟、安全安心、! まちづくりが推っ		といった	者が増加する	0	
ロジ									7	元点での	みつ フィッカ・1年)	座でれる。				
ッ			指標の内容		—	/ 主		1m	成	+5+	原の内容		-	16±	_	1
クモ			果アウトプットに対応した	 年度	実		D7左左	怎 最終年度	果	※③中間7	ウトカムに対応した	左曲	-	₹積 □ D6年度	<u></u> R7年度	標
デ	活		指標を設定	一年度 目標	R5年度	R6年度	R7年度	取於平度 R 年度	_ග	指	票を設定	年度 目標	R5年度	R6年度	代/平及	最終年度 R10年度
ル	期 ,		Rのためのパンフ 配布や出前講座	実績	10.0 10.0	10.0 12.0	10.0	T 平及	指煙	都心部の		上标 実績		40.0 未調査		K10年度
)件数	達成率	100.0%	120.0%	10.0	_	17F	(単位:万.	人)	達成率	小 侧且	小 侧且	_	41.0
	押 標		· · · · · · · · · · · · · · · · ·	目標	50.0	50.0		R 年度	K			目標	_	11.3		R6年度
			マネジメント組織等とのまちづくり検討	実績	71.0	50.0	50.0	. 12	l۲	都心部の	1日あたりの	実績	未調査		_	2 .5 .
	1	に係る	協議回数	達成率	142.0%	100.0%		_	·	歩行者交	进 軍	達成率	_	115.9%		11.3
				基本	計画(政策推進	ヹ゚ヹ゚ヹ゚ヹ゚ヹ゚ヹ゚ヹ゚ヹ゚ヹ゚ヹ゚ヹヹヹヹヹヹヹヹヹヹヹヹヹヹヹヹヹ							事業費(千円)		
Ę	事業 [区分	重		都川	い部の従業者					令和6年度決					
			主 8	-1-1		3年度目標値:4	40万人) <u>-</u> りの歩行者交	: 本 昌			歳出	1			68,770	
劢	策コ	ード	再 7-4-1			3年度目標値:		. 迪里			歳特定	財源			58,000	
分	野別	目標	国際競争力を有し、アジアの	のモデル都市とフ	なっている果							財源			10,770	
	施領	表	都市の活力を牽引する	る都心部の機	指 ^{機能強化} 標						前年度決算額	翌年度	予算額			
	事業	群	都心部の機能強化	化と魅力づ							年度	Ę	R5	R	7	
					行政運営プラ	ン					歳出	1	15,	124	55,007	
	対組ス		_							_	歳特定		1,	424	1,600	
. ≱	進進工	頁目	 -							_	入 一般	財源	13,	700	53,407	

						事務事	事業マネジ	メン	トシー	1	(令和6年	F度実施	分)				
	事主	業名	快適で高質な都点	心回遊空間	間の創出事業						めた理由(きっ						
			1) 	-				一背							る天神・渡辺通、 携し、都心部全		
		管局	住宅都市みどり局	<u>อี</u>	所管課	都心創生	課	景			化に取り組む:		二、谷地区	ル・旧丘1〜選	汚し、 部心 叫土	体のソロンコツ,は	エッのより、
		法令	_	/L=1=	- 1			_					策5−3 情報フ	アクセスや回遊り	生など、来街者にや	さしいおもてなし斑	環境づくり」
			H25	行政計画	曲 ─												
	_	と概要	<u>:】</u> 対象として行うのか	<u> </u>			A1-05-	<u> </u>	~~+=			<u> </u>	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	* O 1. 7 45	100 1.74		` + * + - +
			おいて働く人、住む		スメたど		令和6年度、 方法で何を行			万策	を踏まえ、日	的達成に同	けて主にと	このよっな	成し(終了)で		ら事業を見直
象	ΉÞ	(L) D) (C	000・と国へ入、正と) / (p/) 10 °	عكرمد	施	〇都心回遊に			計業	かか 給討組織	を設置しては	おり 重業制	間の調整・	果都心部を		や来街者を増
						内	情報共有など							11 0 2 11/11 <u>1 F</u>	見加させ、飲	(食、買い物、)	宿泊など様々
	対	象をど(のような状態にした	しのか		容					関係課と連携			IEVE	直な経済波	及効果によるす	市全体の活力
事			としく、魅力ある回道		が成により、働く		〇川に向かっ ついては、県									るよう引続き核	€討していく。
*	む.	人、訪	れる人の心に残る			の歩業	いくため、県市	5連携	会議を実						判断		
ΙĦ	行;	者が増	加する。			手段	間での協議・調			<u>_</u>	11.1.4. 目知話論	5 .h= 4± += 7	ᄼᇝᇄᇚᄜ	小 会山山	基準		
的						Ü	〇西中洲地区	とり胚。	ハラくめ	- ₽.	川 に京観訪や	₽~1頁柏ので) 岭地空间	の創山~	準		
	<u> !ジ</u>	ックモ	デル・指標の遺											·			
			①活動アウトプ				結果アウトプット 結果、どうなる	<u>ወ</u> ቊነ			(スの生	③中間アッ 3.果、対象は		141		④最終アウトカノ 、市としてどう	
	道:	路 河1	(どんな活動を行 Ⅲ、公園などの回遊		ンセプト都川		陌来、⊂うなる の形成とあわせ		Tリアマ	l l	都心部の回過				都心部を回遊		
	トヤ	ゥデザィ	イン、回遊スポットと	なるにぎれ	わい空 木		による回遊空間				等が増加する		1) 011120	八八四日			など様々な経
			について、関係局	連携のもと			で都心部に賑	わいと	活力を							ヾもたらされ、ī	市全体の活力
	开	有•登1	備を推進する。		 	える。				ľ					が向上する。		
ジ										,							
ッ			指標の内容			0 ±		120		成	指標の	由家			±1.6±		1 Am
クエ		※②結	果アウトプットに対応した		実 DE 左右			標	b /= r +	果	※③中間アウトカ	ムに対応した			実績 	-	標
モデ	江		指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度		年度	の	指標を		年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
ル			マネジメント組織	目標	50.0	50.0		К	年度		都心部の1日あたり 量(天神地区、博多	りの歩行者交通 S駅地区の調査	目標		11.3		R 年度
	の		á課とのまちづくり に係る協議回数	実績	71.0	50.0	50.0		_	標	地点のうち12地点(時~20時))(単位:	の合計(平日7	実績	未調査		_	_
	指揮			達成率	142.0%	100.0%		_		ĸ	时·*20时/八年位.	73.7.)	達成率		<u> </u>		D
	標	1	マネジメント組織	目標	10.0	20.0		К	年度	P		-	目標				R 年度
			よる公開空地等で│ ヾント開催件数	実績	41.0				_	ı		-	実績				
		V	DI MIETI W	達成率	410.0%	240.0%				\sim			達成率				
					計画(政策推進			. ster .						事業費(千円	3)		
Į	業	区分		点			ティアの案内丿 のアクセス数∶				令	和6年度決	算額(見込	額)			
林	· 笛·	コード		-3-2	——──│施 ·観 ——— 策	(プロ 月 干队 'ソ *1 1 *1	の	31075	- v			歳出	ı			112,407	
			再 8-1-2		成							歳特定	財源			96,471	
分	野	引目標	磨かれた魅力に、さまざまな	な人がひきつけ	られている 果							入 一般	財源			15,936	
	施	策	情報アクセスや回遊性など、来街	者にやさしいおもてな	指標						前	年度決算額	•翌年度予	算額			
	事	業群	交通利便性や都	心回遊性0	の向上							年度		R5	R	.7	
					行政運営プラ	ン						歳出			7,478	686,141	
耳	又組	方針										歳特定	財源		2,300	660,560	
		項目										入 一般	計道		5,178	25,581	

					事務事	事業マネジ	メントシー	<u> </u>	(令和64	<u> </u>	分)				
	事業名	ウォーターフロン	ト再整備の	推進					めた理由(きつ			+r	"	r // /.	
	**	住宅都市みどり局	=	=r #==	14. 5 -		・コン/ ・第9½ ・第9½						共給力不足が顕 ことが位置づけば		
_	所管局 根拠法令	住宅部中みとり后	1	所管課	ワオーダーノ	ロントまちづくり推	景	/\ IE	11-111-111-1	=1-(111 25)	07 HP117 I	X 11 C 12 V V V V		340720	
_	^{恨拠法节} 開始年度	平成25年度	行政計画	新 第0次方序	市基本計画										
	^{ヵ姶+及} 事業概要		1丁以計四	男 第9次領庫											
L.		: <u>』</u> 対象として行うのカ	١			今和6年度		七年	たないまっ 日	が海ボルウ	ルナナー	どの トラナン	じのトラナ	一件能にかった	ら事業を見直
対	H . —	対象として打りの が			実	方法で何を行		ЛЯ	マで始まん、日	的连队に 円	いて土に	このような	成し(終了)す		り争未で兄但
象		からの来街者 (MI	CE施設利	用者等)	施		一ズ等の動向	しつ	计会経済情勢	の変化等を	踏まえ、関	係局と連	果 ·MICE等の	の多様な都市	機能の強化と
					内	携しながら、7	市民や来街者が						□ 市民や来行	街者が楽しめ	る魅力あるま
	対象をど	のような状態にした	いのか		容	た。							直ちづくりが	なされれば事	業終了とな
車	•MICE等	の機能強化が図ら		の人々との出	会いと事	(関連事業の	状況)						しる。 判		
業		まれている。	- 44.L 2 4	51.3501 /1.5	業	・R2年5月に式	な体駐車場を供						断		
目		貴重な海辺空間で	日常的に態	見い楽しんでいる	る。 手 段		が市計画道路第				≠ ₩		基		
的					Ü	*R3年4月1~\ 	7リンメッセ福岡	ЩΒ	貼を囲 表 、少′	[[日田上座]	を発/佣。		準		
	ュジックモ	デル・指標の遺													
		①活動アウトプ (どんな活動を行				結果アウトプット 結果、どうなる	ωΨ)		(スの)	③中間7º 5果、対象は		741		④最終アウトカノ 、市としてどう	
	•MICE等	の所管局と連携し、		機能 ト			引き出す事業		・MICE等の						都心拠点が形
	強化や魅	力が向上するよう、	、民間事業	者の スコ	テームをとりま	とめ、事業化に	に向けた取組	IA	新たな賑わ				成される。	C1770 J1 7 101	
		も参考にしながら、				ど)を進める。		Ш	市機能の強	能化や回遊	性の向上	が図ら			
	II — —	かす事業スキーム 民間事業者への広				 民の理解や認 事業者の参画:		۱ſ	れ、市民や	来街者が日	日常的に類	息い楽し			
リジ		AND THE WILL	TK (16 TK)	5.00	المالكين بالمالك	- X 1 W 2 D		"	んでいる。			,			
ッ		指標の内容		実	绘	В	 標	成	指標の)内突		9]標
ク モ	1	果アウトプットに対応した	年度	R5年度	™ R6年度	R7年度	最終年度	果	※③中間7ウトカ	ムに対応した	 年度	R5年度	R6年度		最終年度
モデ		指標を設定		検討	検討	八十尺	(未定)	の	指標を	:設定	 目標	ハン十尺	- 40.0	八十尺	R10年度
ル	劉	内容やスキームの	実績	検討	検討	検討	(不足)	指標	都心部の従		実績				1110千皮
	のとりま	とめ	達成率	[in 天] —	1X n)	化四代	策定		(単位:万人))	達成率	个侧且	- 不明且		41.0
	標広報・	情報発信活動の	目標	10.0	10.0		(未定)	K			 目標	_	- 11.3		R6年度
	実施作		実績	1.0	1.0		(MAC)	12	都心部の1日あ	たりの歩行者	実績		- 13.1	_	
		ポジウムや出前 現場視察等)	達成率	10.0%	10.0%		_		交通量		達成率	未調査			11.3
		-50-91 JUN 117	其本	計画(政策推進	ミプラン)							事業費(千円			
	事業区分	重	=		が部の従業者	 数			수 수	和6年度決			<u>, </u>		
			-1-1		年度目標値:		- v= =			歳出				9,346	
方	を策コード	再 5-4-1	· · ·		込部の1日当 <i>†</i> 6年度目標値∶	こりの歩行者交	₹通量			歳特定				0,010	
4	野別日煙	国際競争力を有し、アジアの	のモデル都市とが	なっている	,一及口惊心.	11.0737()				入一般				9,346	
<u> </u>	施策	都市の活力を牽引す	る都心部の機	指 態能強化					前	_ <u></u>		5算額		3,3 10	
	事業群	都心部の機能強	化と魅力づ	にいる 標						年度		R5	R	7	
	2 ×1×41	AI = AI ** (X(10)X		行政運営プラ	ン				1	歳出			,970	22,000	
	 取組方針	<u></u>		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-				1	歳特定			0	0	
-	推進項目	_							1	入一般		21	,970	22,000	

							事業マネジ										
	車	集名	都心拠点間の交	通ネットワ-	ーク強化の検	讨				_		っかけ)は何か					
	77	₹10						36							で、新たな展		
	所管	亨局	住宅都市みどり原	5	所管調	都心交	通課								天神・渡辺通、		
	根拠	法令	_		•	·			ト)の拠りがあった		の回避性を	と局の、米訪	有にもわり	かりやすい公共	共交通によるア	クセス強化に	以り組む必安
	開始	年度	平成23年度	行政計画	画 福岡市都市	交通基本計画	、福岡市総合交通戦	战略	וע נשינו	-0							
Ţ	事業	概要			•												
			対象として行うのだ)\			令和6年度、	前年度の	の改善方	策を	踏まえ、目	的達成に向	けてどの	ような方法	_# どのような	状態になった	ら事業を見直
횻	┪都/	心3拠	点(天神•博多駅••	<u> </u>	フロント地区)る	上回遊!	実で何を行った								成し(終了)	するのか	
多	りする	る市民	や来街者			7	施 〇都心循環B							用割合や	・現在の和	川用状況を踏ま	え、現在の15
							利用頻度など	につい	て、主要	バス	、停における	る調査を実施	iした。			行を続けながら	
	対	象をど	のような状態にした	こいのか			-									者である西鉄。 進に取り組む。	と連携しなが
事	_ E	国際競	争力を備えた九州	・アジアをつ	つなぐ交流拠点		事									些に取り組む 。	
当	¥ \ \		の成長を牽引する				業								十リ Kh		
E	地		ジアとの玄関ロであ			区間の	手 段								基		
色			高め、市民や来街 クセス強化を図るも		いりつりい公共	文進	又								準		
	1100	7.01	ノに八点にで四るに	,0,0											\sim		
7	ロジ	ックヨ	Eデル・指標の選	を成度 】													
			①活動アウトフ				②結果アウトプット					③中間7'	ウトカム			④最終アウトカム	
			(どんな活動を行				の結果、どうなる					結果、対象は				、市としてどう	
			クセス強化におけ				く強化の段階的な	プロセ	スが	C)都心拠点間	の公共交通に	こよるアクセ	スが市民		の公共交通によ	るアクセスが市
			ール(プロセス)のG fと協議・調整	催 疋		され 木車業の日	的、プロセスを理	427 一二二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	·音形		*未初有にと :る。	つくわかりつ	9 (利用し	3911-6072	民や来街者に	_{足有} する。 遊性が向上する	0
			で励哦・過 症 「報発信(市民など・	へのわかり		が図られてし			心心心			内誘導が充実		や来訪者に	〇都心部におり	ける公共交通の	利用者が増え、
		青報提		63 13 70 3		,о <u>ш</u> у,,о со	•					らすいものとな 的、プロセス?		1.671 アル		が減ることにより 都心拠点間の交	
3					17					る る		ロリ、ノロセスで	を言葉がは	三円年し くし・	の強化」が図ら		通イグトソーク
7	√		指標の内容		1 1		T B	標	F	或	指標の			3	 E績	l e	標
۱ŧ	≛ll	※②新	ま果アウトプットに対応した 指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R 7年 度	最終:		果 3	※③中間アウトカ 指標を	がに対応した ・設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
7	[]]活	※社会情		目標	_		_	R ±		カー			目標	現状維持(80%程度	現状維持(80%程度)		R10年度
儿			勢や都心部における交通状況 え、様々な交通対策に総合的 むことで目標達成するものであ	実績	_					恒 2	公共交通が 市民の割る	便利と感じ	実績	81.8%	82.4%	現状維持 (80%程度)	現状維持
	1107	ることからい。	ら、個別の指標を設定していな	達成率	_		_	_	-	~ ~	ᄞᄧᅅᇌᄞ		達成率	100.0%	100.0%		(80%程度)
	指標			目標				R ±	手度 ·	Κ			目標				R 年度
				実績						וי			実績				
				達成率						<u> </u>			達成率				
F					計画(政策推	住プラン)								事業費(千円)		
	車業	区分	T ====================================	点		ピノフノ 策4−5成果指标	<u> </u>				<u> </u>	和6年度決	管苑(目ご		<u>, </u>		
	尹禾	(区刀			施 1・1	日あたりの鉄	道・バス乗車人員				7	1		26只/		1.057	
	施策	コード		I-5-1		見状値(2010年 目標値(2024年						歳出				1,857	
			1.2	3-1-2		∃標値(2024年 ≿共交通の便利						歳				0	
		引目標			されている【禾】 /	かいそ は ジョム	どの公共交通が便	利と感じ	る市民の)		入 一般				1,857	
		策	公共交通を主軸とした		——— [示 □	合) 現状値(2012年	E)77.4%				前	「年度決算額					
	事美	集群	公共交通ネットワ	一クの充実	Ę E	標値(2024年)現状維持(80%程	度を維持	寺)			年度		R5		27	
					行政運営プラ	ラン						歳出	1	1	,573	1,862	
	取組	方針	_									歳 特定	財源		0	0	
	推進	項目	<u> </u>									入 一般	財源	1	,573	1,862	

					事務事	事業マネジ	メン	トシー	 	(令和6	6年	度実施	分)				
	事業名	都心部におけるす	を通マネジス	ソント施策の推	進							かけ)は何/					
		<u> </u>				- 	_	都心部	3、特 ■ 図 :	持に天神地 市交通マネ	,区(なご	り交通混雑	悪化を契 #推協議会	機として、交通 [:] ≥ バおいてエナ	需要の調整や	交通容量の回	復を図るた
_	所管局	住宅都市みどり局	ָ ס	所管課	都心交通	課	*	背 ^{め)、} 倍 ■ 通マネ	ジメ	いく過べる	rン [展	開する必要	があった。	また、都心部に	における交通混	記雑対策として	生に基づき、交「幹線道路・
1	根拠法令	-		1= m + +n +			·	南北方	向泊	道路ネット'	ワー	クの強化」	を長期施	策として掲げて	いる。		
Ī	開始年度	平成14年	行政計画		交通基本計画 市道路整備アク	、福岡市総合交 アションプラン	通										
	事業概要																
		対象として行うのか				令和6年度、前		度の改善に	方策	を踏まえ、	目	的達成に向	けてどの	ような方法	成とのような		ら事業を見直
対		の集積や自動車交		こより局所的な	文 通 実	で何を行ったの									成し(終了)で		
象	混雑が発	生している福岡都の	다파		施内	○フリンジパー ・天神地区に			慢を	治的						モ入抑制のたぬ 足進にエリアマ	か、サービス拡
	11 2 + 1°		1.01.			•博多駅地区	におい	\てセルフ	割引	処理機の追					見一元、利用は		
	≠7 ご、立7 ! ー	のような状態にした おける交通混雑の		6 生 告 地 半 へき	タルカ 事	○天神地区の3 (WLT)との4							eLove天神	協議会	し・都心部の)交通混雑緩和	和に向け、引き
事業目的	倒り、円滑	の17る文通成権の 骨な都市活動を支え				(**************************************	/ (E/) [C	-0.0VI-1.	791 NE	3×071×012	× 0 · 5	~,,,,,			判続き検討る	で行う	
耒	もの。				手										基		
的					段										準		
															~		
7	コジックモ	デル・指標の達	[成度】														
		①活動アウトプ	ット			結果アウトプット						③中間7				④最終アウトカ	
	O / # # # *	(どんな活動を行う		\		結果、どうなる 手段からの変容				, -		果、対象は		のか)		、市としてどう	
		通利用啓発活動の実 パーキングの確保に				手段からの変容。 負利用が増加する				〇台動車分		坦率が上がる 率が下がる	5	\	○都心部の交流(交通混雑緩	^{囲環境が快適と} 和、交通円滑化	
	〇交通結節	節機能の強化		車を	賢く利用するよ	こうになる)				〇都心中心	・暗ぐ	への自動車流			能強化)		
١.,	□○都心部の	の交通混雑緩和に向	けた検討			vグが確保される いて快適な空間		出される		〇交通結果		こおける乗組 緩和される	≛抵抗办位		〇都心部が、人 ける交通体系と		(至・快週に歩
ロジ						雑緩和に向けた			1					,			
ッ		指標の内容					1==		-4-	15:15	= 7/1	乃容			Λ±		1.135
クモ	N4 @ 64	果アウトプットに対応した	年度	実 R5年度	<u>頼</u> R6年度	目 R 7年 度		終年度	成果	※③中間7	ウトカム	に対応した	年度	集 R5年度	<u>頼</u> R6年度	F R 7 年度	፟፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞፞
デ	★ ※社会情報	指標を設定 勢や都心部における交通状	目標	八5千皮	NO千皮 —	八十尺		年度	の	指	標を	役定 一	<u>+-皮</u> 目標	120万人	120万人	八十尺	R10年度
ル	況等を踏ま	まえ、様々な交通対策に総合 組むことで目標達成するもの	実績	_	_	_			指煙	1日あたり	の針	鉄道・バス	実績	118万人	集計中	_	
	いない。	から、個別の指標を設定して	達成率	_				_	伝	利用人員			達成率	98.3%			125万人
	指 標		目標				R	年度	K				目標	現状維持(80%程度)	現状維持(80%程度)		R10年度
			実績							公共交通る市民の			実績	81.8%	82.4%	_	現状維持
			達成率						·	ارمكاداره	ם נים		達成率	100.0%	100.0%		(80%程度)
			基本語	計画(政策推進	重プラン)									事業費(千円)			
3	事業区分	重		施領	54-5成果指標						令	和6年度決	算額(見ば				
		主 4	-5-3	// -	∃あたりの鉄道 状値(2010年)1	・バス乗車人員 08万4千人						歳出				7,139	
所	を策コード	再 8-1-2			標値(2024年)1	20万人						歳 特定	財源			0	
分	·野別目標	人と地球にやさしい、持続可	能な都市が構築さ	れている果・公	共交通の便利さ 首やバスなどの	さへの評価 公共交通が便利	山上咸	じる市民の	ョョ			入一般				7,139	
	施策	公共交通を主軸とした	総合交通体系	の構築 垣合)			.) C 163	ال کر دار ہے۔	ים י		前:	年度決算額		予算額			
	事業群	交通マネジメントの推進(公共交通	通機関や自転車利用(状値(2012年)7 標値(2024年)3	7.4% 見状維持(80%程	度を終	維持)				年度		R5	R	7	
			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	/× (* 11	THE INT				歳出		5,	021	31,105				
J	取組方針	I-										歳 特定	財源		0	0	
1	推進項目	_										入 一般	財源	5,)21	31,105	

						事務事	事業マネジ	メン	トシー	 	(令和6	6年度実施	5分)				
	事第	差名	移転に伴う西部は	地域のまち	づくり							きっかけ)は何					
	•		12 -t- t- 1 - 12/15	_		I-1	- m	겯			の西区西音 成を図るも		気を契機とし	ン、九州大学(尹都キャンパスを	を核とした新し	い学術研究
	所管		住宅都市みどり	司	所管課	計画調整	課		る 他のの	ποι	戍で凶るも	0)					
		法令	— —				2) 火车尚克克牌不	# 🖶									
		年度	平成3年	行政計画	1 九州大学学術	「研究都市構想(HT;	3)※産学官連携で第	東疋									
	_	概要	-	· .			I										
			対象として行うのが				令和6年度、前			方策	きを踏まえ、	目的達成に向	可けて主に	どのような	成し(終了)す		ら事業を見直
対象	ノレッ	州人子	伊都キャンパス周	172		 美 施	方法で何を行			+ ,	-> S フ 田 >	Tのナナベノロ	/- 88 -1- 7 ま	ではつい	果切の物方		[뉴씨+쏨쏨
涿						内	九州大学の移て、調査研究									づくりをめざす ft構想」が実ヨ	見し、伊都キャ
	<u>+</u> 14	キナ じん	ファンナントをディー・ナ	-1.0ts		容	員21名で構成				. , , , , , ,	יניינטיינע אדעו	~ mmax (.	1- 112 22 112	直ンパスを核	えとして、学生 [・]	や研究者など
			のような状態にした 生住宅や利便施記		※ 歩半生が佳:	唐」									1 6.134-15-	知を創造し、	
事	交通	ゑの子: 勇利便:	生にもで利使心間性が高まるなど、「	_{及、明え開ま} 西部地域 <i>の</i>	た成形守が来りまちづくりが進	情し、 きむ。 業									13	点が形成される	వ .
業日						手									基		
目的						段									準		
															\sim		
7	いじ	ックモ	デル・指標の過	幸成度】													
	ŕ		①活動7ウトフ			2	結果アウトプット					③中間7	'ウトカム			4最終アウトカム	
			(どんな活動を行	うのか)		(活動の	結果、どうなる			,		D結果、対象	よどうなる0		(その結果	、市としてどう	なるのか)
			じて九州大学移転	:•跡地対策			表である委員					ンパス周辺に			伊都キャンパ		
	云で	を開催す	9 රිං				ちづくりに関					設、研究開	発施設等 <i>加</i>	が立地さ	学学術研究都 住・生活サポ-		
						譲りることに が円滑に推進	より、地元主∙ i≾ゎス	体の	まりづく	7	れる。				産学連携機能		
ロジ						7 17月101年起	= 01000			1					される。		
ジッ					'					,				,			
			指標の内容		実		目	標		成		の内容		3	と 積	E	標
クモデ		※②結	果アウトプットに対応した 指標を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最	終年度	果	※③中間7º 指#	かかいに対応した 票を設定	年度	R5年度	R6年度	 R 7年度	最終年度
デ	活			目標	2.0				年度	の背	Jen	reax.	目標	95.7		11111111111	R 年度
ル			学移転•跡地対	実績	2.0	1.0	2.0			標		区画整理地	実績	95.		96.0	
	の指	策協議	養会の開催	達成率	100.0%	100.0%			_	<u> </u>	内の立地	割合	達成率	99.49			_
	標			目標				R	年度	K			目標				R 年度
				実績				- 11	1 12	י			実績				
				達成率						_)			達成率				
					上 計画(政策推過	生プニヽハ				_				事業費(千円	\		
-	₽₩	区分	l a	基本			ィ· 九州大学学	術研	空 都 市 •			 令和6年度決			,		
-	尹未	应 河					「CMICTT (SRP地区)の1			E				: 餓 /		745	
旅	5策:	コード		3-2-2	第 度	:30,000人)						歳と				745	
			再 7-6-1		成							~~	財源			0	
分		, – //	国際競争力を有し、アジア										財源			745	
	施		高度な都市機能が集積		標							前年度決算額					
	事第	美群	九州大学学術研究	究都市構想								年月		R5	R	7	
			_		行政運営プラ	シ						歳と			617	1,266	
Į	Q組	方針										歳特定	財源		0	0	
扌	進進	項目	<u> </u>									入 一般	財源		617	1,266	

						事務事	事業マネジ	メン	トシー	\	(令和(6年	度実施	分)					
	事業	基名	九州大学箱崎キャ	ャンパス跡	也のまちづくり						めた理由(,			
				<u> </u>				九州大学の移転に伴う箱崎キャンパス跡地等について、計画的かつ速やかな土地利用転換を図り、良											
	所管 根拠		住宅都市みどり局	Ū	所管課	計画調整		— 月	<u>.</u>	J [II] A	-607 N2194C	- A) I / _	יאו נויום סי	10V (1 7\ (.070			
					_ 地域拠点	機能を充実・	<u></u> 転換する地域												
	開始	年度	平成3年	行政計画	(第9次福	岡市基本計画	j)												
1		概要	_																
	H	誰(何)を対象として行うのか 九州大学箱崎キャンパス跡地等 実 方法で何を行った								方策	を踏まえ、	目的	達成に向け	けて主にと	のような	成			ら事業を見直
交多	'	州大字	相崎キャンハス跡1	地寺		美	万法で何を行 ○グランドデサ			- 亡 1	 	마	和田幼謡。	<u> </u>	±+ ベノロ	果	し(終了)す も W も 単 第		7 味地生の士
3						内	しり リンド / り	イン	の夫児は	_ ⊢J (7、地域19	如此	个1 / 11 加	エはここ、	3 5 7 V				ス跡地等のま 現成)まで事業
	対は	ラをど(のような状態にした	いのか			〇周辺校区へ									直	を継続		
=			と調和・連携した、	び新事	〇議会への検討状況の報告 し し														
常	たた	都市	機能の導入を図る	業															
目的	1					手段	○都市基盤の	整備	(都市計	画道	[路等]					断基準			
H.	ال															準し			
Ļ																			
<u></u>	<u> </u>	ツクモ	デル・指標の達 で 活動7 ウトプ			<u> </u>	結果アウトプット						③中間7	ウトカム			(4最終アウトカノ	\
			(どんな活動を行うのか)			(活動の結果、どうなるのか)		(その結果、対象はどうなるのか)					(その結果、市としてどうなるのか)			
			デザインの実現に同			同しにおいて、良好な提案がなされ、									市基盤の	体感が創出されている。			
			州大学等と連携し、 交流に配慮した多っ								整備が行た、良好								
			なまちづくりなどに			が図られる。						としている。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		دد ۱۰۰۰	体的に発展している。				
	! }				7											・持続的に発展し、100年後の未来に誇れるまちがつくられている。			
3	ارار		长年の士古				- 1		4-		11-11	= 0 -	小 中南						
	<u>'</u>		指標の内容 ②結果アウトプットに対応した 指標を設定		実	** *				成果		標の内容 アウトカムに対応した				実績			標
モ テ	♦			年度	R5年度	R6年度	R7年度		終年度	の	1 14 54 55	i標を設定 事業者公募の		年度	R5年度		86年度	R7年度	最終年度
IJ	加動	グラン	ドデザインの実現	目標 実績	 	— +	中 标	К	年度		土地利用 範囲の内			目標		0.0	0.0	0.0	R 年度
	の	に向け	けたまちづくり	達成率	実施	実施	実施	:	完了	保へ	転換が図			実績 達成率	'	0.0	0.0	0.0	28.5
	指標			目標				R	年度	Κ	(ha)			目標		_	_		R 年度
				実績			-		1 /	P				実績					12
				達成率			-							達成率					
				基本	計画(政策推進	 プラン)					Ī				事業費(千	円)	-		
	事業	 区分	重								1	令和	16年度決	算額(見込					
		_ 1%	主 4	-4-1	——— 施 策								歳出	1				787,836	
	他策:	コード	再 7-4-1										歳 特定	財源				494,288	
3	分野 兒	川目標	人と地球にやさしい、持続可	能な都市が構築さ	れている果								入 一般	財源				293,548	
	施	策	まちと自然が調和した福岡	型のコンパクトな	が 持 標							前年	F度決算額	·翌年度	予算額				
	事業		計画的な市街地	整備の推進									年度		R5		R	7	
					行政運営プラ	ン							歳出			57,445		1,112,941	
		方針									I		歳			71,296		780,900	
	推進	項目	_										人 一般	財源	18	86,149		332,041	

							事務事	業マネジ	メントシー	<u>-ŀ</u>	(令和6	6年度実施	五分)						
	事業	名	セントラルパーク	プロモーシ	ョン事業							きっかけ)は何							
							_ =	・舞鶴公園・大濠公園の魅力向上のため。 											
			住宅都市みとり記	Đ	所管	課	メとり活用	引誅	──背 										
		<u>法令</u>	平成21年度	◇二元左号上 元	5 垣岡市	卒6.4录7	の基本計	面											
		^{年度} 概要		行政計画		机一സ	刀を不 司	<u> </u>											
			: <u>』</u> 対象として行うのか	<u> </u>				会和6年度 €	か年度の改善	€ '	空た 弥士 ラ	日的達成には	コルア主に	ビのトうな	ドの トラナ	一件能にかった	に車業を目店		
	(i	①県民・市民						令和6年度、前年度の改善方策を踏まえ、目的達成に向けて主にどのような											
象	2	国内外	からの観光客				施	天 カム くらら 1 フにんり											
							内 	福岡城さくらま	⊧つりを開催	した。)				見日常的な	憩いの場として	て利用されてい		
	対象	東をど(のような状態にした	こいのか			— — — — — — — — — — — — — — — — — — —	・桜と城壁の9 ベントを実施し		ソノを	行うとともに	こ、桜や歴史に	こ触れ合え	る様々なイ			の貴重な観光 し、魅力的な観		
事			園、大濠公園を、歴	史的資産	やさくらの名	所という	事			さわ	しい日本有	数の桜の名所	fとして今後	後も長期間	判光地となり	リ、福岡の一泊	の目的地と		
業	価値を記		たイベントを通じて、	その魅力	を発信! ね	国の組	美 三	薬 にわたり維持するため、桜の保護育成を実施した。											
業目的			していくこと。		E 76 16 0 ()	五 1四 0 7 元	段								基も継続する	5 .			
נים							→								+				
Ļ	7.55.	/-	- 二 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1																
	12	ツクモ	デル・指標の選 ①活動アウトフ				②	結果アウトプット				③中間7	アウトカム			④最終アウトカ.	l.		
			(どんな活動を行			(情果、どうなる	のか)		(その	の結果、対象に		のか)			てどうなるのか)		
			な資産やさくらの名					つりに関心を				易としての魅					、周辺居住者		
			福岡城さくらまつり あたって、地域住民					豪公園の魅	園の魅	し、公園和		に、観光客の増加で経 する							
			画の実施や、広報を行う。		7370 1247			つる。 園や大濠公園に関わってくれる				民が増加する i日本の魅力		スポットと	済活動が活発化する。 ・海外からの観光客増加で、アジアの交				
							民や企業等が増える。					内のみならず			流拠点都市と	:して国際競争	+力が向上す		
ロジッ										,		する。		,	る。				
ク		w@A	指標の内容		実績			目	標	標成		の内容		実	績	E]標		
クモデ		※②結	課アウトプットに対応した 指標を設定	年度	₹ R5年度		6年度	R7年度	最終年度	□ □ σ,	, tet	かかいに対応した 票を設定	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度		
アル	活	4	『岡城さくらまつりの集 3数	目標		_	50.0	50.0			過去3年間	肌に福岡城	目標	60.0	65.0		R6年度		
		福尚斯 客数		実績	6	1.0	56.0	50.0			(舞鶴公園])に行ったこ	実績	55.6	57.5	_	65.0		
		-		達成率			112.0%	112.0%			とがある市		達成率	92.7%	88.5%		65.0		
	指標			目標	_		30.0		R 年度	\prod_{p}^{K}	ᆝᄤᄼᅡᆉᅝ		目標	_	_		R10年度		
	協		È 業数	実績	2	5.0	23.0	30.0		Ιì		園を利用しる市民の割	実績	56.3	57.8	60.0	70.0		
		達成率				_					合		達成率	_	_		70.0		
				基本	計画(政策	隹進プラ	ン)							事業費(千円)					
Ę	業	区分	重	点				司城跡(舞鶴公 ^	・園)に行った	عت		令和6年度決	算額(見)	└額)					
+4	- // -	コード	主 5	-2-1	施 	かめる巾	5民の割合	i i				歳と	出			31,325			
Dt	8來-	1—∟	再 8-1-1									歳特定	≧財源			0			
分	野別	目標	標 磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている									入 一般	段財源			31,325			
	施		緑と歴史・文化のに	こぎわい拠点	もづくり 標							前年度決算額	頁·翌年度						
	事業群 市民の憩いと集客の拠点づくり(大漆公園・舞鶴公園の一体的な活用等)										年原	-	R5		.7				
					行政運営	プラン						歳と		33,	627	34,800			
_		方針	_								_	~~	三財源		0	17,900			
扌	推進:	項目										入 一部	段財源	33,0	627	16,900			

事務事業マネジメントシート (令和6年度実施分) セントラルパーク構想推進事業 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 事業名 ・舞鶴城址将来構想策定時から20年以上経過し、社会情勢が変化 ・史跡の発掘調査及び史跡内施設の移転が進展 住宅都市みどり局 みどり活用課 所管局 所管課 ・第9次福岡市基本計画での位置づけ 根拠法令 ・構想策定に共同で取り組むことへの県の合意 開始年度 平成25年度 行政計画 福岡市 新・緑の基本計画 [事業概要] 誰(何)を対象として行うのか 令和6年度、前年度の改善方策を踏まえ、目的達成に向けて主にどのような どのような状態になったら事業を見直 し(終了)するのか 方法で何を行ったのか ①県民・市民 対 ②国内外からの観光客 セントラルパーク基本計画で定める短 ・季節毎の賑わいを創出するため、指定管理者の自主事業及び企画事業や 期(概ね10年、2030年頃)の各種施策 多様な民間イベントの受入れ等を実施した。 舞鶴公園と大濠公園の一体的な運用等に関する情報共有や協議検討を行 |を進め、短期以降も、両公園の一体的 対象をどのような状態にしたいのか うことを目的とした、大濠・舞鶴公園連絡会議の開催や、両公園の一体的な な活用を図り、県民・市民の憩いの場 ①大濠公園・舞鶴公園が一体となって、日常的な憩いの場 利活用を目的とした両公園の事業者による連絡会議を開催した。 として、また、歴史、芸術文化、観光の として利用されている状態 ・史跡や公園としての魅力向上のため、見所づくりを実施した。 発信拠点として、公園そのものが広大 ②両公園が本市の貴重な観光資源として磨き上げられ、魅 ・回遊性の向上のため、園路整備(三ノ丸)を実施した。 なミュージアム空間となり、人々に感 力的な観光地となり、福岡の一泊の目的地となっている状 段 城内住宅の移転を実施した。 |動を与えられるよう県など関係者と連 携しながら構想の実現を目指してい 【ロジックモデル・指標の達成度】 (1)活動アウトプット ③中間アウトカム 4最終アウトカム ②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) (その結果、対象はどうなるのか) (その結果、市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 両公園の今後の整備方針が決定する。 ・県市共同でセントラルパーク基本計画を策定する。 魅力的な空間となることで、周辺居住者 ・憩いの場としての魅力や利便性が向上 大濠公園や周辺も含めたエリアで、官民一体となり、福岡城さくらまつり ・既存イベントの充実や多様なイベントを受入れるととも が増加するとともに、観光客の増加で経 等のイベントが実施されている。 し、公園利用者や公園運営に参加する こ、イベントしやすい環境づくりを行う。 ・年間を通じて多様なイベントが実施され、賑わいが創出される。 済活動が活発化する。 県民・市民が増加する。 ・県市で組織を設置し、管理運営の連携を図る。 両公園で一体的な管理運営が行われている。 ・海外からの観光客増加で、アジアの交 ・市民・企業等との共働した取組みが増加する。 市民・企業等の参加の機会を増やす。 ・九州・西日本の魅力的な観光スポットと ・両公園の見所が増え、回遊性も向上する。 ┃ ┃ ●・史跡の発掘調査や復元整備、一体的な公園整備を進 流拠点都市として国際競争力が向上す して、国内のみならず、海外からの観光 ・非史跡施設が城内からなくなっている。 める。 客も増加する。 ・非史跡施設の移転を進める。 ツ 指標の内容 指標の内容 実績 目標 実績 目標 ※②結果アウトプットに対応した ※③中間アウトカムに対応した 年度 R5年度 R6年度 R7年度 最終年度 年度 R5年度 R6年度 R7年度 最終年度 指標を設定 指標を設定 目標 100.0 R 年度 目標 R6年度 100.0 60.0 65.0 指 過去3年間に福岡城 動セントラルパーク基本 実績 100.0 (舞鶴公園)に行ったこ 実績 55.6 57.5 100.0 ∥၈ 計画の策定 65.0 とがある市民の割合 達成率 100.0% 100.0% 達成率 92.7% 88.5% 過去1年間に舞鶴公 目標 目標 R10年度 95.0 100.0 R 年度 園・大濠公園を利用し イベントの年間開催日 実績 実績 145.0 188.0 210.0 56.3 57.8 60.0 たことがある市民の割 70.0 達成率 達成率 152.6% 188.0% 基本計画(政策推進プラン) 事業費(千円) 過去3年間に福岡城跡(舞鶴公園) 事業区分 重点 令和6年度決算額(見込額) 施 に行ったことがある市民の割合 5-2-1 歳出 187,586 施策コード 8-1-1 特定財源 171.596 **分野別目標** 磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている 一般財源 15.990 前年度決算額·翌年度予算額 施策 緑と歴史・文化のにぎわい拠点づくり 事業群 市民の憩いと集客の拠点づくり(大濠公園・舞鶴公園の一体的な活用等 年度 **R5 R7**

歳出

特定財源

一般財源

1,691,533

1.562.899

128.634

236,949

214.280

22.669

行政運営プラン

取組方針

推進項目

事務事業マネジメントシート (令和6年度実施分) 緑化啓発事業・一人一花運動事業・一人一花運動事業(消費) 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 事業名 昭和48年「都市緑地保全法(現都市緑地法)」の制定を受け、同49年「福岡市緑地保全と緑化推進に 関する条例」を制定、平成2年「第2次福岡市緑地保全・緑化推進基本計画」を平成11年2月に「福岡 住宅都市みどり局 所管局 一人一花推進課 所管課 景 市緑の基本計画」を策定し、公共施設及び民有地の緑化等を推進している。 都市緑地法 及び 福岡市緑地保全と緑化推進に関する条例 根拠法令 開始年度 不明 行政計画 【福岡市 新・緑の基本計画 【事業概要】 誰(何)を対象として行うのか 令和6年度、前年度の改善方策を踏まえ、目的達成に向けて主にどのような どのような状態になったら事業を見直 し(終了)するのか 方法で何を行ったのか 対 ①緑化に関心のない人 |●一人一花運動として、既存の取り組みをリパッケージし、花や緑による共創のまちづくりを推進 一人一花運動の輪を広げ、「花や緑に ②緑化の必要性を理解している人 ■各種啓発イベントの実施(一人一花サミット、一人一花スプリングフェス、Fukuoka Flower Show よる共創のまちづくり」が定着すること ③緑化を実践している人 Pre-Event) |を目指し、今後も事業を継続していく。 ●おもてなし花壇制度の拡充(R5:184口→R6:180口) 対象をどのような状態にしたいのか ●ボランティア花壇の拡充(R5:360団体→R6:382団体) 緑化意識を向上する ●パートナー花壇の拡充(R5:635団体→R6:662団体) ①~③のターゲット区分ごとに ●水やりパートナー制度の新設(R5:5店舗→R6:5店舗) 断基 ● 一人一花活動サポート企業数(R5:17社→R6:20社) ①⇒緑化の必要性を理解してもらう 目 ● 一人一花メディアパートナー数(R5:20社→R6:31社) ②⇒緑化の実践を促進してもらう 準 ●緑化推進に携わる市民の育成・支援(緑のコーディネーター事業(コーディネーター数372人)) ③⇒緑化活動を他者にも広げてもらう。 【ロジックモデル・指標の達成度】 ①活動アウトプット ③中間アウトカム 4最終アウトカム ②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) (その結果、対象はどうなるのか) (その結果、市としてどうなるのか) (どんな活動を行うのか) 一人一花サミット、一人一花スプリングフェス等の緑化 イベント参加者が増加する。 ・花や緑による共創のまちづくりが定着す ・緑化に対する意識が向上する。 推進イベントを実施するとともに、広報活動、協賛募集活 ・協賛企業等からの協力を得られる。 る。 動を行う。 花壇活動への参加者が増加する。 ・花や緑を身近に感じるようになる。 ・市民、企業等による花壇活動制度についての広報及び コーディネーター養成講座に参加する。 ・市民の自主的な緑化活動による都市環 花壇活動支援を実施する。 コーディネーターがいろいろな場面で活動する。 境の改善が図られる。 ・緑のコーディネーター養成講座の開催(緑のまちづくり ・コーディネーターを継続して活動する人が増える。 協会)・認定・活動支援を実施する。 指標の内容 指標の内容 実績 目標 実績 目標 ※②結果アウトプットに対応した ※③中間アウトカムに対応した 年度 R5年度 R6年度 R7年度 最終年度 年度 R5年度 R6年度 R7年度 最終年度 指標を設定 指標を設定 市民・企業が花・緑づく 目標 7.0 R 年度 目標 R 年度 8.0 50.0 50.0 指身近な地域において緑 動りやその支援などに参 実績 7.0 8.0 標が豊かであると感じて 実績 35.0 31.0 の画するための枠組み いる市民の割合【%】 達成率 100.0% 100.0% 達成率 62.0% 70.0% 【(制度・メニュー等)の件】 目標 目標 1.200.0 R10年度 R 年度 -人一花運動関連制 実績 実績 1.285.0 1.300 度への登録数 1.600 達成率 達成率 107.1% 基本計画(政策推進プラン) 事業費(千円) 身近な緑への満足度 事業区分 重点 令和6年度決算額(見込額) 施(身近な地域において緑が豊かになっていると感 4-3-4 歳出 144.425 策じる市民の割合) 施策コード 2-1-1 4-4-4 5-1-2 特定財源 23.663 分野別目標 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている 一般財源 120.762 前年度決算額 · 翌年度予算額 施策 生物多様性の保全とみどりの創出 事業群 みどりの創出 年度 **R5 R7** 行政運営プラン 歳出 160,472 139,825 取組方針 2ぬくもり 多様なニーズに寄り添うサービスの提供 特定財源 4.474 80.819

一般財源

135.351

79.653

④市民や企業などとの共働・連携

推准項目

					事務事	<u>事業マネジ</u>											
	事業名	みどり活用推進事	*							きっかけ)は何か							
	尹木口	かこ 7/1 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	***)多様なニーズに		
	听管局	住宅都市みどり局	5	所管課	みどり活用調	₹、Park-PFI推進訂						ijる する」祝点だ 、それらの「資産			いう新たな観点を め。		
	拠法令																
	始年度		行政計画	国 福岡市 新	∱・緑の基本計	画											
	業概																
	誰(何)を対象として行うのか 令和6年度、前年								を踏まえ、	目的達成に向	けてどのよ	うな方法	じょくゆるいか	状態になった	:ら事業を見直		
	みどり資産(公園等) で何を行ったのか								*				成し(終了)す果「市民との#		14 学、「次立の		
象					施 内		:コミュニティパー トするリーフレット			つ地域に対する説	説明など事業P	Rのほか、既	有効活田10	03つの組占か	改善」、「資産の 「効果的・効率的		
		1801 - t. 1848;-1 t					するヒアリングを§ ♪園駐車場の有料		た。				見に実施できる	るよう、様々な	活用を検討(継		
		どのような状態にした 営基本方針の理念に貝		の # 係 」「加 士		駐車場有料化(排除,公平性)	に照らし、周辺環	境や駐車場の		直続)していく				
事	善」、「資	産の有効活用」の3つの			Ptた ナ	対効果などを踏る ③資産の有効活			- 0				判				
業	れている	状態。	1,50,11111	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	業 手	第1期公募公園	(東平尾公園(大	谷広		園、明治公園)にお	いて、地域や	関係者と協	断				
目目					段		B計を進め、工事 に公募を開始した			香椎浜北公園、長:	垂海近公園))	において 会	基				
נים					 ~	和7年度の工事	着手に向け地域 々	準									
						令和7年3月に 	第3期公募公園(台羽:	公園)において	公募を開始した。							
	ジック	モデル・指標の達	成度】														
		①活動アウトプ				結果アウトフット	~ !· \		4=	③中間7 の結果、対象に				4最終7ウトカ			
	(どんな活動を行うのか) (活動の結果、どうなるの みどり経営基本方針を基に市民との共働や収支 ・みどりの維持管理へ市民参加が促進							-		、市としてど							
	·かこりゃ の改善、	とこれる とまれる	に注られる	Ш	みどり資産の価値が高まる。 ①地域住民の生活に根ざした身近な公園→地域自ら活												
	値の向上	上を図る。当面、下記の	事業を進め	る。 ┃	理コストが削減	が削減される 用による歳入増又は歳出減				いやコミュニティ活	話動、健康づく						
		の共働:コミュニティパー 改善:駐車場の有料化			座有郊沽用によ 園の魅力や価値		成出 测	Ш	となっている ②広域から多	くの利用者が集	う公園→質の	高いサービス					
	の見直し	、街路樹再整備方針σ)策定	•公	園利用者の利何				とともに沽か がっている	され、都市の賑わ	いや沽力の氰	川出につな					
		有効活用:公園利活用 PP)の推進	の推進、官員	民連携						各と個性ある都市							
	サネ (「「	F) 切脏压						I	を彩り、風格	ある街並みを形成	するなとして	育で、変され					
										こ親しまれる身近な							
									緑として自ら守り育て、共存し、愛されている								
		TC+111 / N FT 1202						Ш			一愛されている						
ジ	*2	指標の内容 治無アウトプットに対応した	for the	実			標	ľ	指標	ザり育て、共存し、 その内容 かかいに対応した		実		-	目標 		
ジッ	*2		年度	実 R5年度	績 R6年度	E R7年度	最終年度	-	指標 ※③中間75 指標	の内容 かかに対応した を設定	年度	 実 R5年度	R6年度	[R 7 年度	最終年度		
ジックモ		結果アウトプットに対応した 指標を設定	目標	R5年度 —	R6年度 —	R7年度			指標 ※3中間75 指標 身近な地域	の内容 かかいに対応した 重を設定 において緑が	年度目標	実 R5年度 55.0	R 6年度 55.0	-			
ジックモデ		結果アウトプットに対応した	目標 実績			R7年度	最終年度	成果	指標 ※③中間75 指標 身近な地域 豊かである	の内容 かかいに対応した を設定 において緑が と感じている市	年度目標実績	実 R5年度 55.0 31.0	R 6年度 55.0 35.0	-	最終年度		
ジックモ		結果7ウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実	目標 実績 達成率	R5年度 — 8 —	R 6年度 — 8 —	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度	成果の	指標 ※3中間75 指標 身近な地域	の内容 かかいに対応した を設定 において緑が と感じている市	年度 目標 実績 達成率	実 R5年度 55.0 31.0 56.4%	R 6年度 55.0 35.0 63.6%	-	最終年度 R6年度 55.0		
ジックモデル	コミニ 施公	結果アウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実 園数(累計)	目標 実績 達成率 目標	R5年度 — 8 — 13	R 6年度 — 8 — 13	R7年度 現状以上	最終年度	果の指	指標 ※③中間77 指数 身近な地域 豊かである 民の割合【9	の内容 かかに対応した を設定 において緑が と感じている市	年度 目標 実績 達成率 目標	実 R5年度 55.0 31.0 56.4% 70.0	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0	-	最終年度 R6年度		
ジックモデル	二二施 活動 駐車	結果7ウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実 園数(累計) 場有料化実施公園数	目標 実績 達成率 目標 実績	R5年度 — 8 — 13	R6年度 — 8 — 13	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度	果の指	指標 ※③中間77 指数 身近な地域 豊かである 民の割合【9	の内容 かかいに対応した を設定 において緑が と感じている市	年度 目標 実績 達成率 目標 実績	実 R5年度 55.0 31.0 56.4% 70.0 45.7	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0	-	最終年度 R6年度 55.0		
ジックモデル	活動の指	結果7ウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実 園数(累計) 場有料化実施公園数	目標 実績 軍標 実績 運成率	R5年度 — 8 — 13	R 6年度 — 8 — 13	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 — R 年度	果の指	指標 ※③中間77 指数 身近な地域 豊かである 民の割合【9 地域活動へ	はの内容 かかなに対応した を設定 において緑が と感じている市 る	年度 目標 実成率 目標 実績 達成率	実 R5年度 55.0 31.0 56.4% 70.0	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0	-	最終年度 R6年度 55.0 R6年度		
ジックモデル	活動の指標	結果7ウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実 園数(累計) 場有料化実施公園数	目標 実績 国標 目標 実成率 目標 実成率 目標 連邦 東京	R5年度 — 8 — 13	R6年度 — 8 — 13	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度	果の指標(K	指標 ※③中間7: 生地域 身近な地域 豊かである 民の割合【9 地域活動へ 地域の公園	はの内容 かかなに対応した を設定 において緑が と感じている市 は いの参加率	年度 目標 実成標 目標 達目標	実 R5年度 55.0 31.0 56.4% 70.0 45.7	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0	-	最終年度 R6年度 55.0 R6年度		
ジックモデル	活動の指標	新果アウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実 ・園数(累計) ・場有料化実施公園数 所)	目標 実成標 実成標 実成標 実成標 実成標 景積 率 目 実	R5年度 — 8 —————————————————————————————————	R6年度 — 8 — 13 14 107.7% 5	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 — R 年度	果の指	指標 ※③中間で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	はの内容 かかなに対応した を設定 において緑が と感じている市 る	年度 目標 達成標 実成標	実 R5年度 55.0 31.0 56.4% 70.0 45.7	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0	-	最終年度 R6年度 55.0 R6年度		
ジックモデル	活動の指標に	新果アウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実 ・園数(累計) ・場有料化実施公園数 所)	目標 実成標	R5年度 — 8 — 13	R6年度 — 8 — 13	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 — R 年度 — R10年度	果の指標(K	指標 ※③中間7: 生地域 身近な地域 豊かである 民の割合【9 地域活動へ 地域の公園	はの内容 かかなに対応した を設定 において緑が と感じている市 は いの参加率	年度 目 実成標 達 目 実成標 達 成標 藻 標 藻 本	実 R5年度 55.0 31.0 56.4% 70.0 45.7	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0	-	最終年度 R6年度 55.0 R6年度 70.0 R10年度		
ジックモデル	活動の指標に	新果アウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実 ・園数(累計) ・場有料化実施公園数 所)	目 実 は 標 ま 成 標 ま 成 標 集 承 標 集 承 標 ま 成 標 標 標 集 承 標	R5年度 — 8 —————————————————————————————————	R6年度 — 8 — 13 14 107.7% 5	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 	果の指標(K	指標 ※③中間77 指数 身近な地域 豊かである 民の割合【9 地域活動へ 地域の公園 感じている 【%】	はの内容 かかなに対応した を設定 において緑が と感じている市 る の参加率 園に親しみを の市民の割合	年目 実成 標	実 R5年度 55.0 31.0 56.4% 70.0 45.7	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0	-	最終年度 R6年度 55.0 R6年度 70.0		
ジックモデル	活動の指標に	新果アウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実 ・園数(累計) ・場有料化実施公園数 所)	目実成標	R5年度 — 8 —————————————————————————————————	R6年度 — 8 — 13 14 107.7% 5	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 — R 年度 — R10年度	果の指標(K	指標※③中間で 地域の割合【%】 地域のいる【%】 都心のの	はの内容 かかなに対応した を設定 において緑が と感じている市 は いの参加率	年目実成 目実 遠目実成標績 率標績 率標績 率標績 率標	実 R5年度 55.0 31.0 56.4% 70.0 45.7	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0	-	最終年度 R6年度 55.0 R6年度 70.0 R10年度		
ジックモデル	活動の指標に	新果アウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実 ・園数(累計) ・場有料化実施公園数 所)	目 実 達 目 実 達 目 実 成 標 績 率 標 績 率 標 績 率 標 績 率	R5年度 — 8 — 13 13 100.0% 4 4 100.0%	R6年度 — 8 — 13 14 107.7% 5 4 80.0%	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 — R 年度 — R10年度	果の指標(K	指標※③中間で 地域の割合【%】 地域のいる【%】 都心のの	はの内容 かかなに対応した を設定 において緑が と感じている市 は の参加率 園に親しみを 市民の割合 でや緑が豊か	年目実成 目実成 目実成標績 率	大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0	-	最終年度 R6年度 55.0 R6年度 70.0 R10年度 75.0		
ジックモデル	活動の指標民所	結果アウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実 園数(累計) は場有料化実施公園数 所)	目実成 目実成 目実成 標績 率	R5年度 — 8 —— 13 13 100.0% 4 4	R6年度 — 8 — 13 14 107.7% 5 4 80.0%	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 — R 年度 — R10年度	果の指標(K	指標※③中間で 地域の割合【%】 地域のいる【%】 都心のの	(の内容) かかはに対応した を設定 において緑が と感じている市 の参加率 型に親しみを 市民の割合 でや緑が豊か 民の割合【%】	年目実達目実 達目実成標績率 標績率	F F F F F F F F F F	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0	-	最終年度 R6年度 55.0 R6年度 70.0 R10年度 75.0		
ジックモデル	活動の指標に	結果アウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実 園数(累計) は場有料化実施公園数 所)	目実成 目実成 目実成 標績 率	R5年度 8 13 100.0% 4 4 100.0%	R6年度 — 8 — 13 14 107.7% 5 4 80.0%	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 — R 年度 — R10年度	果の指標(K	指標※③中間で 地域の割合【%】 地域のいる【%】 都心のの	の内容 かかれに対応した を設定 において緑が と感じている市 ら の参加率 園に親しみを 市民の割合 でや緑が豊か 民の割合【%】	年目実成 目実成 目実成 標績 率 目実成標績 率 種類 (見)	F F F F F F F F F F	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0	R7年度 — — —	最終年度 R6年度 55.0 R6年度 70.0 R10年度 75.0		
ジックモデル	活動の指標とは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	新果7ウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実 園数(累計) は場有料化実施公園数 所) は場有料化実施公園数 所)	目実成 目実成 目実成 標績 率	R5年度 8 13 13 100.0% 4 4 100.0%	R6年度 — 8 — 13 14 107.7% 5 4 80.0%	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 — R 年度 — R10年度	果の指標(K	指標※③中間で 地域の割合【%】 地域のいる【%】 都心のの	(の内容) かかはに対応した を設定 において緑が と感じている市 の参加率 園に民の割合 をや、制合 をいずる。 「ないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	年目実達目実成 目実成 標績率 算額(見)	F F F F F F F F F F	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0	-	最終年度 R6年度 55.0 R6年度 70.0 R10年度 75.0		
ジックモデル	活動の指標民所	新果7ウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実 園数(累計) ・ 場有料化実施公園数 ・ 所)	目実 達目実 達目実成 基本点	R5年度 8 13 100.0% 4 4 100.0%	R6年度 — 8 — 13 14 107.7% 5 4 80.0%	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 — R 年度 — R10年度	果の指標(K	指標※③中間で 地域の割合【%】 地域のいる【%】 都心のの	(の内容) かかはに対応した を設定 において緑が と感じている市 の参加率 園に民の割合 をや、制合 をいずる。 「ないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	年目実成 目実成 目実成 標績 率 目実成標績 率 種類 (見)	F F F F F F F F F F	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0	R7年度 — — —	最終年度 R6年度 55.0 R6年度 70.0 R10年度 75.0		
ジックモデル 事 施	活動の指標とは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に	注標を設定	目実成標績率 実成標績率 実成標績率 点 -6-1	R5年度 8 13 13 100.0% 4 4 100.0% 計画(政策推進 施策成果	R6年度 — 8 — 13 14 107.7% 5 4 80.0%	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 — R 年度 — R10年度	果の指標(K	指標※③中間で 地域の割合【%】 地域のいる【%】 都心のの	の内容 かかんに対応した を設定 においている市 と の参加率 引に民の割合 を 中のの割合 を ののを ののを ののを ののを ののを ののを ののを ののを ののを	年目実達目実成 目実成 標績率 算額(見)	F F F F F F F F F F	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0	R7年度 ————————————————————————————————————	最終年度 R6年度 55.0 R6年度 70.0 R10年度 75.0		
ジックモデル 事 施	活動の指標とは、一貫のおりには、一貫の対象をは、一関をは、一関をは、一関をは、一関をは、一関をは、一関をは、一関をは、一関	注標を設定	目実成標績率 目実成標績率 「達目実成標績率」 「は都市が構築	R5年度 8 13 100.0% 4 4 100.0% 計画(政策推進 施策成果指	R6年度 — 8 — 13 14 107.7% 5 4 80.0%	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 — R 年度 — R10年度	果の指標(K	指標※③中間で ・ 指域 身近なであ合【外 地域の 地域で 地域で でいる 【%】 都心と思う がと思う	の内容 かかんに対応した を設定 においている市 と の参加率 引に民の割合 を 中のの割合 を ののを ののを ののを ののを ののを ののを ののを ののを ののを	年目実達目実達目実達 額 源源 財財	F F F F F F F F F F	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0	R 7年度 — — — — — 25,762 0	最終年度 R6年度 55.0 R6年度 70.0 R10年度 75.0		
ジックモデル 事施分	活動の指標とは、一貫を開発しています。 また はいまん はい	新果7ウトプットに対応した 指標を設定 ユニティパーク事業実 園数(累計) は場有料化実施公園数 所) は場有料化実施公園数 所)	目標 達目実成標 実成標績率 「実成標績率」 「実成標績率」 「「「「」」 「」」 「」」 「」 「	R5年度 8 13 13 100.0% 4 4 100.0% 計画(政策推進 施策成果 指	R6年度 — 8 — 13 14 107.7% 5 4 80.0%	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 — R 年度 — R10年度	果の指標(K	指標※③中間で ・ 指域 身近なであ合【外 地域の 地域で 地域で でいる 【%】 都心と思う がと思う	の内容 かかんに対応した を設定 においている市 に	年目実達目実達目実達 額 源源年	F F F F F F F F F F	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0	R 7年度 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	最終年度 R6年度 55.0 R6年度 70.0 R10年度 75.0		
ジックモデル 事施分	活動の指標とは、実施を関する。	注版	目標 達目実成標 実成標績率 「実成標績率」 「実成標績率」 「「「「」」 「」」 「」」 「」 「	R5年度 8 13 100.0% 4 4 100.0% 計画(政策推進 施策成果指	R6年度	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 — R 年度 — R10年度	果の指標(K	指標※③中間で ・ 指域 身近なであ合【外 地域の 地域で 地域で でいる 【%】 都心と思う がと思う	の内容 かかんに対応した を設定 においている市 は と	年目実達目実達目実達 額 源源年度標績率標績率標績率 見 原 見 原 の 見 の ままままままままままままままままままままままままま	F F F F F F F F F F	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0 72.9% ————————————————————————————————————	R 7年度 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	最終年度 R6年度 55.0 R6年度 70.0 R10年度 75.0		
ジックモデル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	活動の指標とは、実施を関する。	注集を設定 コニティパーク事業実験数(累計) は場有料化実施公園数 活力導入事例数(箇	博士 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東	R5年度 8 13 100.0% 4 4 100.0% 計画(政策推進 か 施策成果指標 つの向上	R6年度	R7年度 現状以上	最終年度 R 年度 — R 年度 — R10年度	果の指標(K	指標※③中間で ・ 指域 身近なであ合【外 地域の 地域で 地域で でいる 【%】 都心と思う がと思う	の内容 かかんに対応した を設定 はいまいで はいまいで はいまいで はいまいで がった はいまいで がった はいまいで はいまいでは、 これではいまいでは、 これでは、 これ	年目実達目実達目実達 額 源源年度標績率標績率標績率 見 原 見 原 の 見 の ままままままままままままままままままままままままま	FR5年度 FS5.0 31.0 56.4% 70.0 45.7 65.3% 1.0 1	R6年度 55.0 35.0 63.6% 70.0 51.0 72.9% ————————————————————————————————————	R 7年度 — — — — — — — — — — 25,762 0 25,762	最終年度 R6年度 55.0 R6年度 70.0 R10年度 75.0		